



# HOKKAIDO UNIVERSITY

|                  |                                                                                   |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| Title            | 寡占経済の動態分析－3                                                                       |
| Author(s)        | 小林, 好宏                                                                            |
| Citation         | 北海道大學 經濟學研究, 18(3), 169-228                                                       |
| Issue Date       | 1968-11                                                                           |
| Doc URL          | <a href="https://hdl.handle.net/2115/31180">https://hdl.handle.net/2115/31180</a> |
| Type             | departmental bulletin paper                                                       |
| File Information | 18(3)_P169-228.pdf                                                                |



# 寡占経済の動態分析——Ⅲ

小 林 好 宏

## 第3章 市場の構造と機能

### 1. 問題の所在と展望

寡占市場の形成過程において中心をなすのは集中化である。したがって、寡占市場のタイプを分類する場合の構造上の基準は、集中度である。集中度のみを基準として考えると、市場における企業間の競争の態様も、集中度の動向によって決まってくると言える。競争の態様は、市場の成長に影響を与える。同様にまた集中度も、市場の成長によって規定されてくる。両者は相互に関連し合っている。

産業組織論的見地から言えば、寡占市場の類型と、そのもたらす効果という面で、市場の評価がなされるが<sup>1)</sup>、その場合の基準として市場構造、企業行動、市場成果がある。たとえば、最近とりあげられているような大型合併の適否を判断する場合、市場構造基準では、企業数、集中度、企業間の共謀の有無、新規企業の参入の可能性、という競争の諸条件を重視し、その点から、その産業の構造についての判断を下すことになる。これに対して市場成果基準では、コスト低下とそれへの価格の調整の有無、操業度、資源の浪費の回避等、効率性を重視する。市場行動基準は、価格、産出量、生産物の品質やデザイン、販売促進費の決定等の、企業の市場政策と、競争企業に対する政策、すなわち他企業の動きに対する企業の対応、競争や協調の過程やメカニズム、これらが市場行動の基準である。

これらの基準は互に関連をもっていると考えられる。市場構造基準から

みて、競争を抑圧する条件があるような場合、すなわち、企業数が少数で参入が阻止され、集中度が高い、というような場合には、市場における企業行動も、競争抑圧的な、乃至は協調的なものとなりやすいと考えられるし、その結果、市場成果としては、価格の硬直性や、高位安定利潤がもたらされると考えられる。

本章では、市場における企業間の競争形態が、競争的か協調的かという点を中心に据えて、そのような競争形態をもたらす市場構造の条件を検討するところからはじめる。市場構造については、一時点における構造の類型を分ける静態的分類の他に、構造の変化にも注目する動態的分類をも合わせ、検討する。その際、寡占の市場構造に関して、同質的寡占と非同質的寡占という区別に重点をおく。また、それに対応する競争形態のあらわれ、すなわち競争と協調の指標を、市場構造の変化に与える影響という面でみた場合、市場の流動性が問題となる。それは、市場における企業順位の変化や、集中度の変化としてあらわれる。これは同時に、市場構造の動態的分類の基準ともなる。そこで次に、市場の流動性について、特に日本およびアメリカを具体例として検討する。最後に、市場成果としての価格と利潤率について、それと市場構造とのかかわり合いを、昭和30年代の我国を具体例に検討する。

1) 産業組織論には、二つの異なった接近方法がある。一つは、内部的接近、もう一つは、外部的行動主義的接近である。前者は、個々の企業の内部組織を問題にするのに対し、後者は、企業が行動する場合の環境と、これらの環境のもとで、諸企業が行動する場合の行動様式、ひとくちに言えば、市場構造とそのもとでの企業行動、その結果もたらされる市場成果を対象とするものである。

このような産業組織論は、アメリカにおいて、トラスト対策を目的として生まれてきたという面がある。トラストが好ましくないとする考え方の根拠には、競争が資源の最適配分をもたらすという思想がある。だが、今日の時点で、完全競争を追求すること自体が無意味である。更に規模の巨大化は、独占化をもたらす可能性があるとは言え、規模の経済性が存在するものでは、規模の巨大化が望まれる。そうになると、単に集中の進展のみで、それを否定することはできなくなる。そこで、構造のみでなく価格協定の有無、共謀の有無、等を基準に判断するということが必要になる。更にもう少しゆるめると、企業行動がどうであれ、その結果もたらされる市場成果がどうであるかによって評価されるというようになる。いずれにしろ、市場構造、企業の市場

における行動、市場成果は、それぞれ多様な関連をもっている。それらの関連を、種々な角度から検討するのが本章の課題である。この点に関しては、新野幸次郎「現代市場構造の理論」 新評論昭和43年参照。

## 2. 市場構造の分類

市場構造を多面的に把握するようになったのは、1920～30年代における独占的競争の理論の発展においてであると言える。最も古典的には、完全競争が複占乃至寡占、そして完全独占という単純な区分であったのに対し、生産物差別化の概念の導入により、よりいっそう多様な産業の構造が把握されるようになった<sup>1)</sup>。

通常、完全競争の条件として、1)売手多数、2)生産物の同質性、3)参入の自由、が挙げられる。このうち、1)と3)は相互に関連あるが、これらのうちどれが欠けても完全競争ではなく、市場構造は不完全寡占か集中型寡占か、又は独占である。市場の完全、不完全は、主として2)の有無にかかわり、1)と3)は集中度にかかわる。1)、2)、3)の条件のうち、どれがどの程度欠けているかで、市場構造を分類することも可能である。

ベインは、集中度の高低、生産物差別化の有無、参入の困難性の程度の三つを基準にして、市場構造を分類した。その結果、完全競争から独占まで15通りの分類がなされた。そのうち寡占に相当するものは12通りであり、現実の市場は多くの場合、これら12種類のタイプに分類される<sup>2)</sup>。

### I 原子的市場

A 生産物差別化のないばあい。

B 生産物差別化のある場合

### II 適度に集中化した寡占市場

A 生産物差別化のない場合

1 参入が容易な場合

2 適度に参入が困難な場合

3 参入が阻止されている場合

B 生産物差別化のある場合

- 1 参入が容易な場合
- 2 適度に参入が困難な場合
- 3 参入が阻止されている場合

### Ⅲ 高度に集中化された寡占市場

#### A 生産物差別化のない場合

- 1 参入が容易な場合
- 2 適度に参入が困難な場合
- 3 参入が阻止されている場合

#### B 生産物差別化のある場合

- 1 参入が容易な場合
- 2 適度に参入が困難な場合
- 3 参入が阻止されている場合

### Ⅳ 独占的市场

我国においては、公正取引委員会事務局編「日本の産業集中」において、集中度の態様を中心に市場構造を分類している<sup>3)</sup>。公取の分類は、まず、特定時点における集中度の高低を基準に行なわれている。その際、生産量ないし生産額でとらえた相対的規模が、平準的であるか、それとも格差があるか格差があった場合、それが何位目くらいのところで生じているかに注目している。すなわち、格差の有無とその所在点は、集中の形態を示すものであり更にそれは競争の態様と密接なつながりがあるとして、重視している。そこで、上位10社の累積集中度を第一の基準に、更に1社、3社、5社の累積集中度を第二の基準として、6種類に分類している<sup>4)</sup>。

1. 極高位型 5社累積集中度 100 %  
3社累積集中度90%以上  
1社累積集中度60%以上
2. 高位型 10社累積集中度 100 %  
5社累積集中度90%以上 100 %未満  
3社累積集中度70%以上90%未満

3. 準高位型 10社累積集中度90%以上 100%未満  
5社累積集中度70%以上90%未満
4. 中位型 10社累積集中度75%以上90%未満  
5社累積集中度60%以上70%未満
5. 準中位型 10社累積集中度50%以上75%未満
6. 低位型 10社累積集中度50%未満

このように類型を分けている。これをみると、10社累積集中度 100%という業種は、極高位型、高位型両方にわたっており、業種数は58にも及んでいる。極高位型から準中位型まで、10社で過半を占めているし、90%以上を越える業種は、準高位型まで含まれて、80に及んでいる。このことから、ひとくちに集中度と言っても、上位10社もとったならば、業種ごとの細かな特徴はあらわれて来ないと言える。5社累積集中度にしても、70%以上が80業種である。かくて、市場構造の特徴は、もう少し少数の企業の集中度の態様にあらわれるということが推測される。

この類型に、企業数、集中度格差の有無とその所在点を考慮すると、各タイプは更に三つくらいに分かれる。これに企業経営の規模、業界の競争状態を考慮にいれて、総合的基準による分類を行なっている<sup>5)</sup>。

### 1. 高度寡占型〔Ⅰ〕

企業数 1～7                      極高位型

1社集中度50%以上

で2位との格差大

### 2. 高度寡占型〔Ⅱ〕

企業数 1～7                      極高位型

格差小                              高位型

### 3. 寡占型〔Ⅰ〕

企業数 8～30                      極高位型

1社集中度30%以上              高位型

で2位との格差大                  準高位型

## 4. 寡占型〔Ⅱ〕

|                                      |      |
|--------------------------------------|------|
| 企業数 8～30                             | 高位型  |
| 上位 2～4 社の集中度<br>が高く、それ以下の<br>企業との格差大 | 準高位型 |

## 5. 二極集中型

極高位型

|                                       |                          |
|---------------------------------------|--------------------------|
| 企業数約40以上                              | 高位型                      |
| 上位 1～4 社の集中度<br>が高く、それ以下の企<br>業との格差が大 | 準高位型<br>中位型<br>準中位型, 低位型 |

## 6. 平準的集中

高位型

|          |           |
|----------|-----------|
| 企業数 8～30 | 準高位型      |
| 格差小      | 中位型, 準中位型 |

## 7. 競争型〔Ⅰ〕

準高位型

|                     |             |
|---------------------|-------------|
| 企業数40以上             | 中位型         |
| 10社累積集中度が約<br>50%以上 | 準中位型<br>低位型 |
| 格差小                 |             |

## 8. 競争型〔Ⅱ〕

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 企業数90以上             | 低位型 |
| 10社累積集中度が約50<br>%未満 |     |
| 格差小                 |     |

公取の分類では、各タイプにおける競争の特徴との結びつきをよく説明している。ペインの分類は、たしかに、生産物差別化の有無、参入の状況、集中度の高低、という基本的な要因で整理されたものであるが、競争の形態、市場構造に対応する企業の行動形態が明確に浮かびあがっては来ない。その点「日本の産業集中」における分類は、同じように集中度の高さとは言っても

格差の存在、およびその所在点という競争に影響する重要な問題に注目している。公取の分類はこのように生産物の差別化の有無よりも、集中度とその態様に重点をおいているが、それは、この書の標題「日本の産業集中」に示されるように、集中の実態に重点をおいているためもあるが、しかし生産物差別化の有無は、集中と競争形態に影響を与える副次的要因として扱かれているのみであり、集中を中心に市場構造、市場行動、市場成果をみるという役割を果たしている。

この書では、企業規模との関連についても言及している。資本金によって企業の規模を巨大企業、大企業、中企業、小企業の四つに分け、上位10社までが、この四つの区分のどれに属し、それがどのような組み合わせで構成されているかによって、類型を分けている<sup>9)</sup>。それによると、

- I 巨大企業主導、大企業併存型
- II 巨大企業、大企業型
- III 大企業型
- IV 巨大、大企業主導、中小企業併存型
- V 巨大、大企業主導、中小企業併存型
- VI 各層混在型
- VII 中小企業主導、巨大、大企業併存型
- VIII 中企業、小企業型

このような分類からみると、寡占的市場はI、IIに多く、競争型はVII、VIIIが主で、中間のIII～VIは、いずれかに属している。したがって寡占的市場は、企業規模の上でも、巨大企業ないし大企業が中心であるということができる。けれども、寡占市場のうち、競争的か寡占的相互依存関係があるかという市場の機能と結びつけた場合には、必ずしも巨大企業のみからなる方が寡占の特徴である相互依存性、価格の硬直性、管理価格制に傾斜しているとは言えない。市場の機能との関連で言うならば、やはり規模についても、規模格差の存在形態が影響してくる。

公取の分類において、集中度や規模の格差とその所在点を重視したことは

すぐれた見解である。今日、たとえば上位5社とか10社の集中度をとってみると、我国の場合、きわめて高い。その意味では、主要産業は殆んど寡占市場である。寡占的市場構造を分類することの意義は、それぞれの構造と機能とのかかわりを見出す点にある。そうした場合、上位企業数社の集中度というだけでは不十分である。一般的に、集中度が高まるほど、寡占の特徴である価格の支配や共謀が生じやすくなると考えられる。だが上位5社が市場の20%ずつを占め累積集中度が100%である場合と、5社全体では70%だが、トップメーカーが1社で30%を占めている場合、いずれも巨大企業のみから成っていても、競争形態としては、前者の方がより寡占的であるとは言えない。むしろトップメーカーが1社で30%を占めているようなケースの方が、価格支配が行なわれやすいであろう<sup>7)</sup>。すなわち、前者は平準的集中に近く後者は格差のあるケースであろう。しかも格差の所在点は、1位と2位以下との間にある。

公取の多様な分類を別な観点から整理すると、集中度の格差の状況で分けることが可能である。すなわち、市場における企業間の競争形態で区分した場合、競争的寡占と協調的寡占という二つの分類が可能である。そのような競争形態をもたらす市場構造として、力の均衡した企業間の競争がある場合と、格差が存在する場合とに分けられる。前者を同質的寡占、後者を非同質的寡占と呼ぶことにする<sup>8)</sup>。同質的寡占においては、たとえ売手が少数でもそれぞれの力が均衡しているために、競争が激しい。それに対して非同質的寡占では、格差の存在が、上位企業の支配力が、企業間の寡占的相互依存関係の確立を可能にする。

同質的寡占、非同質的寡占の概念を、これまでの寡占理論が想定した市場構造に照応させて言うと、ペイン<sup>9)</sup>やモデリアーニ<sup>10)</sup>の想定した市場構造は同質的寡占であり、非同質的寡占の典型的なものは、シロス・ラビーニの想定する寡占市場であろう<sup>11)</sup>。ペイン、モデリアーニもシロス・ラビーニも、寡占産業内における既存企業間の協調を前提としている。これらモデルは、潜在的競争者の参入という制約条件のもとで、既存企業がどこまで寡占

的高価格を維持しうるかを問題にしているため、当然、既存企業間の競争の問題は背後におしやられ、むしろ協調を前提とするということになる。けれども、寡占的競争において重要なのは、既存大企業間の競争であり、一方で潜在的競争者の参入の脅威を受けながら、他方では既存企業間の競争を行なっているのが現実である。その意味で、協調は減多に起りえない性質のものと言える。協調が外的規制によってでなく、産業内に存在する企業によって自発的に行なわれるとすれば、それはいかなる条件のもとにおいてであるか。もしこのような自発的協調が生じうるなら、それはきわめて高度な寡占であると言うことができよう。

「日本の産業集中」における総合基準による寡占市場の分類において、高度寡占型Ⅰ,Ⅱ,寡占型Ⅰ,Ⅱのうち、ⅠはⅡにくらべて相対的に上位企業の累積集中度が高いことはもちろんであるが、もうひとつの特徴は、産業内のトップメーカーと2位以下とに格差が存在することである。これは先の非同質的寡占に近い。そして、これらにおいて既存企業間の協調に似た状況がみられることが指摘されている。ここで注目すべきことは、この種の寡占的相互依存関係は、高度寡占型Ⅱよりも、寡占型Ⅰにおいてより強いという点である。このことは、単に上位企業の累積集中度の高さだけでなく、集中度格差の存在形態が、産業内の競争形態に強く影響することを意味していると思われる。この点で、我々は、自発的協調が行なわれる根拠を、産業内における企業間の格差に求めることができよう。逆に上位数社の累積集中度がかなり高くとも、対抗力のある企業間の競争状態のもとでは、かなり激しい競争も行なわれうる。非同質的寡占は、格差の存在するケースであり、同質的寡占は、対抗力のあるケースとも言うことができる。そこで我々は、この基準をもとに、特定時点における市場構造を分類してみることも可能である。

#### Ⅰ 非同質的寡占市場

1. 1位と2位以下とに格差のある場合で、少数巨大企業によって構成される市場
2. 少数巨大企業グループ(2～3社)とそれ以下とに格差のある場合

## II 同質的寡占

1. 巨大企業数社が対抗力をもって競争し合っている市場
2. 巨大企業から中小企業まで規模の格差を含みながらも、総じて大きな格差はなく競争し合っている市場

Iの1は、最も典型的な非同質的寡占である。Iの2は、巨大企業以外に市場で競争し合っている中小企業が存在しているが、少数巨大企業との間にはっきり格差のある場合である。この場合、少数というのは何社くらいかが問題となる。もし3社から4社以上で、しかもその間に格差がなければIIの1の対抗力のあるケースとなる。実際に、主導的巨大企業に協調が行なわれ、産業内の各企業が追随するのは、主導的巨大企業が2社かたかだか3社であると思われる。いずれにしろ、対抗力をもって競争し合うケースと、巨大企業間の協調が生じやすくなるケースとの境い目をどこに求めるかは、検討を要する問題である。このことは、集中度と利潤率との対応関係を求めたりする場合に、上位何社の集中度をとるのが妥当かという問題に関連する。

IIの1は、巨大企業が主導している寡占市場で、巨大企業間には格差はなく、個々の企業同志に対抗力がある場合である。IIの2は格差があっても、漸次的であり、1社でとびぬけたシェアをもっていているということがない場合である。

以上は、市場構造を特定時点における集中の状況を中心にみれば静態的分類である。だが、実際には、その集中が進みつつあるか、格差が固定化ないし拡大しつつあるか、縮小しつつあるかで市場における競争形態はかなり異なる。その観点からの分類は、動態的分類と言える。動態分類についても「日本の産業集中」では細かな検討を行なっているが、その中心をなすのは集中度の変化の状況である。これを先に述べた競争、協調という二つの側面との対応関係で言うと、この二つの特徴は、市場構造が固定化しているか、流動的かという違いになってあらわれるだろう。市場行動を基準に産業を分類するならば、競争、協調という企業の行動の特徴が重要な基準となりうるが、競争、協調それ自体は、企業の態度や政策に関することであり、数

量的に把握し難いが、そのような行動の結果は、市場構造の流動化として現象するだろう。仮にある時点で非同質的寡占であっても、何らかの理由でキャッチアッププロセスが生ずると、市場における格差は縮少し、平準化してくるかもしれない。それは市場構造が流動的であることを意味する。市場行動基準による市場の類型化は、それ自体、動態分類の性質をもつ。動態的な市場構造の分類として、構造が流動的か硬直的かという基準が考えられる。構造が硬直的な市場の特徴は、新規の参入が制限され、しかも既存企業の順位も固定化している。これに対して流動的市場では、参入の自由があり、企業順位も変動する。現実には、これを両極端として両者の中間にある場合が多い。

- |          |            |                                        |
|----------|------------|----------------------------------------|
|          | 1. 参入のある場合 | $\begin{Bmatrix} A \\ B \end{Bmatrix}$ |
| I 流動的市場  | 2. 参入のない場合 | $\begin{Bmatrix} A \\ B \end{Bmatrix}$ |
|          | 1. 参入のある場合 | C                                      |
| II 硬直的市場 | 2. 参入のない場合 | $\begin{Bmatrix} C \\ D \end{Bmatrix}$ |

Aは、企業順位の変動が激しい場合で、もちろん格差はないか、あってもすぐに縮小し、逆転する。Bは、企業順位の変動はないが、格差が縮小しつつある場合、Cは、順位も格差も固定化している場合である。Dは、格差が拡大したり、吸収合併が生じて少数のリーダーの手に集中されて行く場合である。Dは、その限りでは流動的とも言えるが、これは、構造がますます固定化する動きと言えから、硬直的市場の中に組み入れられる。この中で、Iの1Aは、最も競争的なケースである。Iの1Bは、新製品部門によくみられる。出発点において特定企業に独占されていた市場が、後発メーカーによって追いあげられてくる場合がそれにあたる。これは追いつかれた場合Aに転化する可能性がある。Iの2Aは、産業の性質として参入が困難であるが競争は激しいという場合、Iの2Bは、同様な性質をもつ新産業にみられる。II. 1Cは、参入がある場合であるが、参入があってもそれは中小企業

の参入で、巨大ないし大企業を中心とした寡占的秩序に影響はない。Ⅱ・2 Cは、最も硬直的な寡占のケースである。Ⅱ・2 Dは、このような硬直的寡占のもとで更に支配体制が強化されるケースとすることができる。以上は、参入の有無、企業順位の変動、格差の動き、の三つを基準に、市場構造が流動的か硬直的かを分けたものである。この区別は、競争と協調に対応し、市場構造が同質的か非同質的かという区分にも対応する。次節では、この市場構造の流動性の問題を、日本やアメリカを例に検討してみよう。

- 1) このような貢献は主としてチエンバリンによってもたらされたと言うことができる。E. H. Chamberlin, *The Theory of Monopolistic Competition*, 1933. 青山秀夫訳「独占的競争の理論」
- 2) J. S. Bain, *Industrial Organization*, 1959.
- 3) 公正取引委員会事務局編「日本の産業集中」東洋経済新報社 昭39.
- 4) 同上, 29頁。
- 5) 同上, 38頁。
- 6) 同上, 54～55頁。
- 7) この点に関しては、拙稿：我国寡占市場における競争と協調、季刊理論経済学 18巻2号を参照されたい。
- 8) このような分類は、すでに拙稿：協調的寡占の恐れ濃い大型合併、東洋経済臨時増刊企業合併特集, 1968年7月3日号において行なっている。
- 9) J. S. Bain, *Barriers to New Competition*, 1956. ここにおけるベインは、明らかに既存企業間の格差を捨象している。
- 10) F. Modigliani ; *New Development on the Oligopoly Front.*, *Journal of Political Economy.*, June 1958. この論文は、ベインとシロス・ラビーニの両者を綜合したものと言える。モディリアーニの場合は、規模の経済性と市場の相対的規模を重視し、最小最適単位の大きさが与える影響をエクスプリシットに示しているが、既存企業間の格差の存在は殆んど考慮されていない。
- 11) P. Sylos-Labini; *Olygopoly and Technical Progress*, 1961. 安部一成訳 寡占と技術進歩、東洋経済、昭39年。

### 3. 市場構造の流動性——参入と企業順位の変動——

市場構造の流動性と硬直性は、参入の状況、企業順位の変動状況、集中度の変化の状況によって知ることができる。ところで、筆者は第2章で、集中

度の変化をめぐる問題について言及した。アメリカについてみると、集中合併運動が広範に展開されたのは、世紀の代り目であり、その後、集中は進展したとする考え方に対して、逆に独占化は進行していないとする主張もある。集中運動の波はこれまでいくつか経験された（大きなもので三度）が、特定の市場についてみると、むしろ世紀の代り目において達成された高い集中度が、逆に低下しているものもある。（石油、鉄鋼などがそれにあたる。）したがって全体としてみると、どんな指標をとるかで、どちらとも断言しえない事情にある。

独占が進展しているか衰退しているか、市場構造の面で言えば、流動的市場が硬直的市場となるにつれて、独占がより進展したと理解することができる。たとえ、当初、非同質的寡占の状態であっても、同質的寡占へと流動する場合もある。この場合は、競争の機能がかなり強まっていると言えよう。逆に同質的寡占の中から、集中合併によってか、あるいは競争によってか、いずれにしろ格差のある状態へと変化し、しかもそれが固定化するなら、独占化はすすんでいると言えるであろう。

ここで重要なことは、独占が進展しているか否かは、集中度が高まったかどうかだけではなく、集中度の格差によって代表されるような市場構造がどう変化したか、更に、それにとりあう企業の競争形態がどうか変わったか、更に又、それに応じて市場成果がどう変わったかをみなければならない。すなわち、構造と機能の両面からみる必要がある。本節ではこの観点にたって、アメリカや日本についての市場構造の動態を比較検討する。

独占が進展しているか、確立、安定しているか、逆に衰退しているかを判断する指標として、独占的地位を占めた企業が、その地位を保持しつづけるか、新しい企業にとってかわられるかという問題がとりあげられる<sup>1)</sup>。これを、個々の産業内の問題としてとらえるならば、これまで述べてきたような市場構造の流動性の問題となる。アメリカにおいては、過去に、アメリカ全体として、大企業の地位が強まっているか否かをめぐっての研究が多くなされた。ここでは、それらの研究成果を具体例としてとりあげよう。

アメリカにおいて、独占の進展状況を示したものとしては、先にも示したバーリ＝ミーンズのものがあるが、もしその結論にしたがうなら、巨大会社は、その他の会社よりも2、3倍の速さで成長しているわけであるから、たとえば最上位200社の集中度は、1950年には70%におよぶことになる<sup>29</sup>。このようなことが事実起っているかどうかを検討したものに、カプランの研究がある。それによれば、上位100社の資産が総資産に占める割合は、1909年の24.6%から1948年には26.7%に増加している。したがってその限りでは資産の集中度は高まっていることになる。けれどもそれだけでは独占の進展は結論できないとして、カプランは最上位100社間の序列の変動状況をみている<sup>30</sup>。

スティグラマーは、これにもとづいて、最上位100社の出沒状況を示しているが<sup>41</sup>、1948年における最上位100社のうち、1909年以来100位以内にあるものは36社、1919年に100位以内に入ったものは26社、1929年になってからのものは14、1935年には5社で、残り19社は1948年にはじめてあらわれた。このことから、最上位100社は固定せず、激しい変動をみせているのであり新興企業との間に競争がかなり激しいと述べている。もちろん、これには統計操作上の問題点など数多くあることは疑いない。けれども、少なくとも上位100社が固定してはいないということは明らかに言える。もっとも、宮崎義一氏は、カプランの表にもとづき、1909—1948年の最上位100社への新規出現会社数を算出し、それが年々減少していることを示した<sup>53</sup>。それによると新規出現会社数は、1909—1919年に47で、1年平均4.7、1919—1929年に28で年平均2.8、1929—1935年は11で、年平均1.8、1935—1948年は19で年平均1.5社となっている。このことから、企業が新しく最上位100社に割りこむことが、年とともに困難になっていることが判る。

アメリカの企業順位の変動を、一国全体としてみると以上の如くである。この状況をどう解するかには多くの問題がある。これどもこれまでの検討から少なくとも言えることは次の如くである。①今世紀のはじめから、寡占的経済の構造はほぼ確立した。②けれどもそれらの企業の地位がいっそう高ま

ってますます他との格差が大きくなったとは言えない。③そのことは、最上位 100 社の順位の変動にもみられる。④けれども、最上位 100 社とか 200 社とかいうのは、企業数としては、全法人企業の中で圧倒的少数であり、弱小企業がこれらの仲間入りをするという事態は殆んど生じない。⑤だが、巨大企業と小企業との差は動かし難くとも、同じ巨大企業間の競争の様態は、やはり市場構造の状況を反映している。巨大企業に仲間入りするものが多かったり、順位の変動が激しい場合は、巨大企業、大企業間の競争は激しいと言える。けれどもそのような競争が弱まるなら、寡占体制は固定化するか、あるいは独占化が進展すると言えよう。アメリカの場合、最上位 100 社の仲間入りをする企業数が徐々に減少していることは事実である。

以上が前章から検討を続けてきたアメリカの寡占市場の動態の要約である。そこで次に、我国において、企業順位の変動状況がどうなっているかを昭和30年代を中心にみよう。

対象期間が限られているので、アメリカについてカブランやスティグラーが行なったことをあてはめ、比較してもあまり有効な結果は見出せない。そこで若干異なるアプローチをしてみよう。まず、我国における最上位 100 社（年間売上高でみた）を各年についてならべ、その順位を付したのが付表 1 であるが、それをもとに、各年ごとに新規に上位 100 社へ参入した企業数を調べると、次のようになる。これによると、上位 100 社への参入は、昭和35

3.1表 上位100社への新規参入企業数

| 年   | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 39 | 38 | 39 | 40 |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 企業数 | 4  | 5  | 8  | 5  | 6  | 4  | 4  | 3  | 10 | 5  |

付表より作成

年を境にしてやや減少傾向を示しているが、39年には急に増加している。これは、我国における集中合併運動の高まりと関連があるように思われる。参入企業数の減少傾向は、最上位50社をとると、はっきりあらわれる。すなわち、3.2表は、最上位50社へ51位以下から参入した企業数を示しているが、32—35年の高度成長期には参入企業数は増加し、その後減少している。もち

3.2表 上位50社への新参入企業数

| 年度<br>企業数 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |
|-----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
|           | 4  | 4  | 5  | 7  | 5  | 3  | 3  | 2  | 2  | 1  |

付表より作成

ろん、新規参入とは言っても、51—100位以内にあった企業が、50位以内に入ったものが殆んどであって、100位以下から50位以内にいきなり入りこむということはない。下位企業から上位企業への参入は、上の段階になるほど困難になると思われる。そこで、上位100社を、10位ずつ10段階に分け、各段階での新規参入企業数を示したのが3.3表である。ここでは、下位から

3.3表 各段階への新規参入企業数

| 年度<br>位順 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |
|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1～10     | 1  | 1  | 1  | 1  | 2  | 3  | 1  | 1  | 1  | 0  |
| 11～20    | 1  | 2  | 3  | 2  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  |
| 21～30    | 4  | 5  | 3  | 4  | 3  | 1  | 2  | 3  | 3  | 0  |
| 31～40    | 2  | 4  | 4  | 2  | 4  | 1  | 2  | 2  | 4  | 2  |
| 41～50    | 1  | 2  | 2  | 4  | 3  | 3  | 2  | 2  | 0  | 2  |
| 51～60    | 3  | 3  | 4  | 1  | 2  | 4  | 2  | 1  | 1  | 1  |
| 61～70    | 2  | 4  | 3  | 3  | 3  | 2  | 4  | 2  | 5  | 4  |
| 71～80    | 3  | 7  | 4  | 5  | 4  | 6  | 4  | 2  | 6  | 2  |
| 81～90    | 3  | 3  | 6  | 4  | 1  | 1  | 5  | 2  | 4  | 3  |
| 91～100   | 4  | 1  | 2  | 2  | 6  | 2  | 4  | 3  | 6  | 2  |

付表より作成

当該段階へ入りこんだもののみを数えている。これによると明らかに、上位の段階になるほど、新規企業の参入が減少することが看取される。我国の昭和30年代について企業の順位の変動状況をみると、毎年かなりの変動があり決して固定化しきっていないが、それでも上位1～10位、11～20位までは新規の参入が、かなり限定されている。更にもうひとつの特徴と言えることは、高度成長期には新規の参入がかなり多かったが、昭和37年頃から、やや減少していることである。

以上は、上位グループへの新規参入の状況をみたわけであるが、もうひとつの指標は、企業の順位の違いによる場合の変動の幅である。同じ参入でも

101位から100位以内に入りこむ場合と130位から100位以内へ入りこむ場合とは異なる。第3.4表は、上位100社のうち前年にくらべて10位以上変化し

3.4表 各年ごとの10位以上の変化のあった企業数

| 年 度   | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 39 | 38 | 39 | 40 |
|-------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 企 業 数 | 32 | 34 | 28 | 28 | 38 | 19 | 23 | 13 | 21 | 14 |

付表より作成

た企業数を調べたものである。もちろん100位以下から10位以上あがってきたものも含まれる。ただしこれには、上昇と下降の両方を含めている。この幅の大きな変化が多いほど、経済全体として動きが激しいと考えられるが、これで見ると、100位以内への参入は限られているとは言え、その中での順位の変動は激しかったと言える。更に特徴的なことは、高度成長期において大きな変化が多く、それがやや減少傾向を示し、昭和39年に再び大きな変化を経験して、やがて減少に転じているということである。全体の動きは、上位への参入企業数の動きと類似している。この点から、昭和35～36年をピークとする高度成長過程と、昭和39年の不況期が、別な意味で、産業構造を大きく動かしたと言えよう。前者は成長過程における動態であり、後者は、ある種の転換を暗示する事態を示していると理解される。10位以上変化するということは、支配体制が確立、固定化していないことを意味すると思われるが、これを各段階ごとに分けてみると次のようになる。

3.5表 各段階ごとの10位以上変化した企業数

|        | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | 37 | 38 | 39 | 40 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 1～10   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  | 0  | 1  | 3  |
| 11～20  | 1  | 1  | 0  | 0  | 1  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 21～30  | 4  | 2  | 1  | 3  | 2  | 0  | 0  | 0  | 2  | 0  |
| 31～40  | 2  | 3  | 3  | 3  | 4  | 1  | 1  | 1  | 2  | 1  |
| 41～50  | 2  | 3  | 0  | 3  | 2  | 3  | 2  | 1  | 0  | 1  |
| 51～60  | 4  | 6  | 3  | 4  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  | 1  |
| 61～70  | 5  | 4  | 6  | 1  | 6  | 2  | 3  | 2  | 1  | 3  |
| 71～80  | 4  | 7  | 3  | 4  | 5  | 3  | 5  | 2  | 3  | 1  |
| 81～90  | 6  | 2  | 8  | 6  | 2  | 4  | 5  | 4  | 5  | 4  |
| 91～100 | 4  | 6  | 4  | 4  | 5  | 3  | 4  | 2  | 6  | 3  |

これによると、下位段階では順位の変動の幅の大きなものがあるが、上の段階では10位以上も上下があるということは減多に起らなくなる。1～10位以内で10位以上の変化のあったのは、37年に石川島播磨、39年に三菱重工業が、いずれも合併によって、大きく上昇したものである。

全体を通じて言えることは、合併のような手段を除くと、1～20位まではほぼ地位が安定しているし、参入もきわめて限られている。だがそれ以下になると、順位のいれかわりも頻繁になり、かつその幅も大きくなってくると言える。

次に、企業順位の変動状況を各業種ごとに分けて検討してみよう。実際には、市場の性質、すなわち市場構造の流動性、硬直性は、各業種ごとの企業順位の変動や参入の状況によって知ることができる。第3.6表は、昭和32年から40年までの9年間について、16の主要業種における企業順位の変動状況を示したものである。これによると、その産業の性質によって企業順位の変

3.6表 企業順位の変動状況

|           | 昭32 | 昭33 | 昭34 | 昭35 | 昭36 | 昭37 | 昭38 | 昭39 | 昭40 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 〔板ガラス〕    |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 旭 ガ ラ ス   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |
| 日本板ガラス    | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   |
| 日 本 硝 子   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   |
| 岩 城 硝 子   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   |     |     |     |
| 〔紙及び板紙〕   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 本 州 製 紙   | 3   | 3   | 2   | 2   | 4   | 3   | 3   | 4   | 4   |
| 王 子 製 紙   | 2   | 2   | 4   | 5   | 3   | 4   | 4   | 3   | 3   |
| 十 条 製 紙   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 3   |
| 北 越 製 紙   | 6   | 6   | 6   | 6   | 7   | 9   | 8   | 9   | 9   |
| 三 菱 製 紙   | 5   | 5   | 5   | 4   | 5   | 5   | 5   | 6   | 6   |
| 大 昭 和 製 紙 | 4   | 4   | 3   | 3   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   |
| 神 崎 製 紙   | 8   | 8   | 7   | 7   | 8   | 7   | 7   | 7   | 7   |
| 北 日 本 製 紙 | 10  | 10  |     |     |     | 10  | 10  |     |     |
| 聯 合 紙 器   | 7   | 7   | 8   | 8   | 6   | 6   | 6   | 5   | 5   |
| 日 本 紙 業   | 9   | 9   | 9   | 9   | 8   | 9   | 8   | 9   | 9   |
| 巴 川 製 紙 所 |     | 10  |     |     |     |     |     | 10  |     |
| 高 崎 製 紙   |     |     | 10  | 10  | 10  | 10  |     | 10  | 9   |

|                | 昭32 | 昭33 | 昭34 | 昭35 | 昭36 | 昭37 | 昭38 | 昭39 | 昭40 |
|----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 日本加工紙<br>〔時計〕  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 服部時計店          |     |     |     |     |     |     | 1   | 1   | 1   |
| シチズン時計         |     |     |     |     |     |     | 2   | 2   | 2   |
| リコー時計          |     |     |     |     |     |     | 3   | 3   | 3   |
| 愛知時計電機         |     |     |     |     |     |     | 4   | 4   | 4   |
| 〔その他化学工業〕      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 富士写真フイルム       | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 2   | 2   | 2   |
| 小西六写真工業        | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   |
| 資生堂            | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 1   | 1   | 1   |
| オリエンタル<br>写真工業 | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   |
| ライオン歯磨         | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   |
| 〔化学繊維〕         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 旭化成            | 2   | 2   | 2   | 2   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   |
| 帝人             | 3   | 4   | 5   | 3   | 3   | 2   | 2   | 2   | 2   |
| 東洋レーヨン         | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |
| 倉敷レーヨン         | 4   | 3   | 4   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 6   |
| 東邦レーヨン         | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   |
| 三菱レーヨン         | 6   | 6   | 6   | 6   | 7   | 6   | 6   | 6   | 5   |
| 日本レーヨン         | 5   | 5   | 3   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   |
| 酒伊繊維           |     |     |     |     |     |     | 8   |     |     |
| 北日本紡績          |     |     |     |     |     |     | 9   |     |     |
| 〔石油精製〕         |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 日本石油           | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |
| 日本石油精製         | 8   | 8   | 4   | 4   | 5   | 4   | 4   | 4   | 4   |
| 東亜燃料工業         | 3   | 3   | 3   | 5   | 4   | 4   | 5   | 5   | 5   |
| 丸善石油           | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   |
| 三菱石油           | 4   | 4   | 5   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   |
| 昭和石油           | 5   | 5   | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   | 7   |
| 興亜石油           | 7   | 7   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 9   |
| 大協石油           | 6   | 6   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 6   |
| 東亜石油           |     |     |     |     |     |     |     | 8   | 9   |
| 〔産業用機械〕        |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 小松製作所          | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |
| 不二越鋼材          | 3   | 3   | 5   | 5   | 4   | 3   | 3   | 4   | 6   |
| 大阪金属           | 5   | 6   | 4   | 4   | 5   | 6   | 5   | 6   | 3   |
| 荏原製作所          | 4   | 4   | 3   | 3   | 2   | 3   | 4   | 4   | 6   |
| 住友機械           | 2   | 2   | 2   | 2   | 3   | 2   | 2   | 2   | 3   |

|               | 昭32 | 昭33 | 昭34 | 昭35 | 昭36 | 昭37 | 昭38 | 昭39 | 昭40 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 日立精機          | 10  | 7   | 8   | 8   | 8   | 7   | 7   | 7   | 7   |
| 三菱化工機         | 8   | 8   | 9   | 10  | 9   | 7   | 8   | 8   | 8   |
| 芝浦機械          | 6   | 5   | 6   | 6   | 6   | 5   | 6   | 5   | 3   |
| 月島機械          | 7   | 9   | 10  | 9   | 10  | 10  | 10  | 10  | 8   |
| 石井鉄工所         | 9   | 10  | 7   | 7   | 7   | 9   | 9   | 9   | 9   |
| ダイキン工業        |     |     |     |     |     |     |     | 6   | 5   |
| 井関農機          |     |     |     |     |     |     |     | 7   | 7   |
| 千代田化工         |     |     |     |     |     |     |     | 5   | 3   |
| 豊田自動織機        |     |     |     |     |     |     |     | 2   | 2   |
| 東洋運搬機         |     |     |     |     |     |     |     |     | 4   |
| 大阪機工業         |     |     |     |     |     |     |     |     | 8   |
| 豊和工業          |     |     |     |     |     |     |     |     | 10  |
| 〔事務用〕         |     |     |     |     |     |     |     |     | 9   |
| 〔家庭用機械〕       |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 日本ミシン製造       | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |     |     |
| 愛知工業          | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 6   | 6   |
| 日本タイプライター工業   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 8   | 8   |
| ブラザー工業        |     |     |     |     |     | 1   | 1   | 1   | 4   |
| 蛇の目ミシン        |     |     |     |     |     |     |     | 2   | 3   |
| リッカーミシン       |     |     |     |     |     |     |     | 1   | 1   |
| リコール          |     |     |     |     |     |     |     | 5   | 5   |
| 日本ナショナル機械登録工業 |     |     |     |     |     |     |     | 3   | 4   |
| 東京重機工業        |     |     |     |     |     |     |     | 7   | 7   |
| アイシン精機        |     |     |     |     |     |     |     |     | 4   |
| 〔鉄鋼〕          |     |     |     |     |     |     |     |     | 3   |
| 八幡製鉄          | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |
| 富士製鉄          | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   |
| 日本鋼管          | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   |
| 住友金属工業        | 4   | 5   | 4   | 4   | 4   | 5   | 5   | 4   | 4   |
| 川崎製鉄          | 5   | 4   | 5   | 6   | 6   | 4   | 4   | 4   | 6   |
| 神戸鉄工所         | 6   | 6   | 6   | 5   | 5   | 4   | 6   | 5   | 6   |
| 日亜製鋼          | 9   | 10  |     |     |     |     |     |     |     |
| 日本鉄板鋼         | 8   | 8   | 8   |     |     |     |     |     |     |
| 大同製鋼          | 10  | 9   |     |     |     |     |     |     | 9   |
| 日本製鋼所         | 7   | 7   |     | 10  | 10  | 9   | 9   | 10  | 10  |
| 中山製鋼所         |     |     | 7   | 9   | 9   | 8   | 8   | 9   | 9   |
| 尼崎製鉄工業        |     |     | 10  | 8   | 8   | 9   |     |     |     |
| 三機工業          |     |     | 9   | 10  |     |     |     |     |     |
| 日新製鋼          |     |     | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 8   |

[illegible]

|         | 昭32 | 昭33 | 昭34 | 昭35 | 昭36 | 昭37 | 昭38 | 昭39 | 昭40 |
|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 昭和電工    | 2   | 2   | 2   | 2   | 3   | 3   | 3   | 3   | 3   |
| 日産化学    | 3   | 5   | 5   | 8   | 5   | 8   | 5   | 8   | 9   |
| 三菱化成    | 5   | 4   | 3   | 4   | 3   | 2   | 2   | 2   | 2   |
| 東洋高圧    | 4   | 3   | 4   | 3   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   |
| 東亜合成化学  | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   | 5   | 7   | 5   |
| 日東化学    | 7   | 7   | 8   | 7   | 8   | 9   | 9   | 9   | 10  |
| 電気化学    | 8   | 8   | 10  | 10  | 9   | 7   | 8   | 6   | 8   |
| 新日本窒素肥料 | 9   | 9   | 7   | 5   | 7   | 5   | 7   | 6   | 8   |
| 徳山曹達    | 10  | 10  | 9   | 9   | 10  | 10  | 9   | 9   | 9   |
| 日本曹達    |     |     |     | 10  | 10  | 10  |     | 10  | 10  |
| 信越化学    |     |     |     |     |     |     | 10  | 10  |     |
| 〔油脂〕    |     |     |     |     |     | 10  |     |     |     |
| 日本油脂    | 1   | 1   | 1   | 1   | 2   | 2   | 1   | 2   | 3   |
| 旭電化     | 3   | 2   | 3   | 4   | 4   | 4   | 4   | 4   | 5   |
| 第一工業製薬  | 5   | 5   | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   | 6   |
| 鐘淵化学    | 2   | 3   | 4   | 3   | 3   | 3   | 3   | 2   | 2   |
| 花王石けん   | 4   | 4   | 2   | 2   | 1   | 1   | 2   | 1   | 1   |
| 酸水素油脂工業 | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   |
| ライオン油脂  | 6   | 6   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 5   | 4   |
| 〔カメラ〕   |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| キヤノン    |     |     |     |     |     |     |     | 1   | 1   |
| 日本光学    |     |     |     |     |     |     |     | 3   | 3   |
| ミノルタ    |     |     |     |     |     |     |     | 2   | 2   |
| オリンパス光学 |     |     |     |     |     |     |     | 4   | 4   |
| 東京光学機械  |     |     |     |     |     |     |     | 5   | 5   |
| 〔通信機械〕  |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 松下電器    | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   | 1   |
| 沖電気     | 4   | 4   | 4   | 5   | 6   | 6   | 6   | 5   | 6   |
| 日本電気    | 2   | 2   | 2   | 2   | 3   | 3   | 3   | 3   | 2   |
| 三洋電機    | 3   | 3   | 3   | 3   | 2   | 2   | 2   | 2   | 2   |
| 富士通信機   | 5   | 6   | 5   | 6   | 5   | 5   | 4   | 4   | 4   |
| 日本無線    | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 8   | 9   | 9   |
| 日本コロンビア | 6   | 5   | 6   | 4   | 4   | 4   | 5   | 6   | 6   |
| 小糸製作所   | 9   | 10  |     |     |     |     |     |     |     |
| 神戸電機    | 10  | 9   |     | 9   | 9   | 9   |     | 10  | 10  |
| 神戸工業    | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 7   | 8   |
| 京三製作所   |     |     | 9   | 10  | 10  | 10  |     | 10  | 10  |
| 日本信号    |     |     | 10  | 9   |     |     |     |     |     |

|           | 昭32 | 昭33 | 昭34 | 昭35 | 昭36 | 昭37 | 昭38 | 昭39 | 昭40 |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 東 光 電 気   |     |     |     | 10  | 10  | 9   | 10  |     |     |
| 小 糸 製 作 所 |     |     |     |     |     |     | 8   | 8   | 8   |
| 早 川 電 機   |     |     |     |     |     |     |     | 4   | 6   |
| ソ ニ ー     |     |     |     |     |     |     |     | 10  | 8   |
| 八 欧 電 機   |     |     |     |     |     |     |     | 7   | 10  |
| 日本ビクター    |     |     |     |     |     |     |     | 4   | 5   |
| 中 川 電 機   |     |     |     |     |     |     |     |     | 5   |
|           |     |     |     |     |     |     |     |     | 10  |

企業順位は、各業種における売上高の順位である。

三菱経済研究所、本邦事業成績分析（企業経営の分析）より算出。

動状況はかなり異なっている。激しく順位のいれかわる産業もあれば、順位が安定している産業もある。順位の変化の仕方にも多様性があり、トップメーカーの地位は安泰だが、2位ないし3位以下ではいれかわりのあるもの、全体としていれかわりの激しいもの、全く安定しているもの等に分けられる。ここにかかげた16業種の中で、企業順位の固定化している硬直的市場は

第3.7表 企業順位の変動頻度

| 業 種           | 変動頻度 | 上位3位以内で<br>変化のあった回数 | トップメーカーの<br>いれかわった回数 |
|---------------|------|---------------------|----------------------|
| パ ル プ ・ 紙     |      | 9                   | 1                    |
| 医 薬 品         |      | 4                   | 0                    |
| 化 学 織 維       |      | 4                   | 0                    |
| 自 動 車         |      | 4                   | 4                    |
| 板 ガ ラ ス       |      | 0                   | 0                    |
| 鉄 鋼 業         |      | 0                   | 0                    |
| 非鉄第一次製錬       |      | 0                   | 0                    |
| 石 油 精 製       |      | 1                   | 0                    |
| 有機工業薬品        |      | 19                  | 5                    |
| 時 計           |      | 0                   | 0                    |
| 産 業 用 機 械     |      | 6                   | 0                    |
| 無機工業薬品        |      | 6                   | 1                    |
| 通 信 機 械       |      | 4                   | 0                    |
| そ の 他 化 学 工 業 |      | 1                   | 1                    |
| 油 脂           |      | 12                  | 3                    |
| 事務用家庭用機械      |      | 12                  | 4                    |

◎第3.6表より作成

板ガラス、時計、その他化学工業（写真感光材料、化粧品類）、石油精製、鉄鋼等であり、通信機械、医薬品等は、トップメーカーの地位は安泰であるが、下位では変動がある。第3.7表は、3.6表をもとに、各業種における企業順位の変動頻度を示したものである。そこでは、各産業の上位3位以内で対象期間を2期別に分け計18期間にいかかわった回数と、トップメーカーが同期間にいかかわった回数を示している。

完全に企業順位の固定しているのは、板ガラス、時計、その他化学工業のうちの写真感光材料である。その他化学工業には、写真感光材料と化粧品を含んでいる。これを別々に分けると、それぞれ順位はかわらない。それに時計である。鉄鋼は全く変わっていないが、これは3位まで固定しているのであり、4位、5位はいれかわりがある。完全に固定している硬直的市場は、集中度の高い高度寡占型の産業として知られている。産業全体としていれかわりの激しいのは、医薬品、有機工業薬品、無機工業薬品、油脂であり、トップメーカーの地位は安泰だが、2位以下では変化のあるのが、産業用機械通信機械である。このような企業順位の変動の状況から、各産業の性質を知ることができる。

以上から、我国の企業順位の変動状況に関しては、およそ次のように言うことができる。①経済全体としてみると、企業の順位のいれかわりはかなり激しい。上位50社、100社、それ以下、というように範囲を拡げると、企業順位の変動は激しく、新たにその範囲に出現する企業数も増加する。これを逆に言えば、上位になってくると、いれかわりや新規出現企業数も減少してくる。最上20位くらいまでは、かなりその地位が安定している。

②同様に、上位にくるほど順位の変動の幅も小さくなる。

③高度成長期には順位の変動は激しく、その後低下の傾向を示しているが39年に変動が大きかった。これは39年の不況期が、産業構造上の大きな変化をもたらしたことを暗示している。

④業種別にとっても、産業内全体としては順位の変動頻度は大きいですが、トップメーカーの地位は比較的安定している。このことは、経済全体をとった

場合、上位になるほど、安定してくることに照応している。

⑤企業順位が固定化している業種もいくつかみられる。これらは、集中度も高い業種である。

以上から、我国の市場構造に関して、企業順位の変動の態様から流動的市場と硬直的市場を区分することが可能である。ここにかかげた範囲で言うならば、流動的市場と言えるのは、比較的競争の激しい業種であり、硬直的な市場は、板ガラス、写真フィルム、時計等、いくつかに限られている。企業順位の変動の少ない点では、鉄鋼もそうであるが、これは順位の変動のみからみたのであり、企業格差の存在形態からいうと、いちがいに硬直的市場とはいえない。そこで次に、企業格差（集中度格差）の動きについてみよう。

第3.8表—A 産業別集中度の推移

| 業 種   | 年 次 | 32    | 33    | 34    | 35    | 36     | 37     | 38     | 39     | 40     |
|-------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|
|       |     |       |       |       |       |        |        |        |        |        |
| 化 織   | 上位  | 36.27 | 36.32 | 35.80 | 31.80 | 32.44  | 31.48  | 30.94  | 28.46  | 36.77  |
|       | 1社  |       |       |       |       |        |        |        |        |        |
|       | 3社  | 64.90 | 65.03 | 66.12 | 63.80 | 69.08  | 70.19  | 68.63  | 66.49  | 64.96  |
|       | 5社  | 87.69 | 88.86 | 83.19 | 82.33 | 88.44  | 88.87  | 87.22  | 84.46  | 86.91  |
| ガ ラ ス | 1社  | 61.53 | 61.14 | 60.38 | 60.13 | 59.15  | 59.49  | 60.52  | 62.61  | 60.01  |
|       | 3社  | 99.10 | 98.97 | 98.91 | 98.81 | 98.96  | 99.52  | 100.00 | 100.00 | 100.00 |
|       | 5社  |       |       |       |       |        |        |        |        |        |
|       |     |       |       |       |       |        |        |        |        |        |
| 自 動 車 | 1社  | 40.79 | 38.29 | 40.83 | 38.13 | 34.91  | 34.34  | 34.65  | 33.52  | 36.76  |
|       | 3社  | 89.84 | 90.71 | 91.13 | 87.22 | 83.84  | 84.65  | 84.61  | 83.71  | 84.24  |
|       | 5社  |       |       |       |       | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 | 100.00 |
|       |     |       |       |       |       |        |        |        |        |        |
| 通信機械  | 1社  | 43.51 | 43.69 | 43.91 | 43.38 | 43.92  | 44.78  | 41.23  | 34.87  | 32.02  |
|       | 3社  | 70.62 | 73.89 | 75.62 | 75.73 | 74.72  | 75.35  | 67.35  | 57.93  | 56.60  |
|       | 5社  | 82.32 | 84.79 | 86.26 | 86.94 | 86.93  | 86.95  | 78.46  | 60.09  | 69.15  |
|       |     |       |       |       |       |        |        |        |        |        |
| 鉄 鋼   | 1社  | 19.06 | 19.67 | 20.17 | 19.55 | 18.83  | 17.60  | 16.76  | 16.16  | 15.98  |
|       | 3社  | 45.01 | 46.69 | 45.74 | 44.85 | 45.28  | 45.05  | 43.24  | 40.40  | 40.89  |
|       | 5社  | 60.82 | 61.34 | 56.46 | 59.32 | 60.66  | 62.05  | 59.09  | 57.98  | 59.29  |
|       |     |       |       |       |       |        |        |        |        |        |
| 産業用機械 | 1社  | 23.32 | 24.19 | 25.55 | 29.54 | 32.50  | 35.20  | 31.92  | 25.08  | 26.80  |
|       | 3社  | 49.82 | 51.06 | 52.57 | 53.31 | 55.84  | 56.74  | 50.84  | 43.87  | 44.85  |
|       | 5社  | 69.95 | 72.09 | 70.84 | 71.98 | 74.25  | 73.71  | 68.76  | 59.59  | 60.76  |
|       |     |       |       |       |       |        |        |        |        |        |

三菱経済研究所「本邦事業成績分析」（企業経営分析）より算出

第3.8表-B 品目別集中度の推移

| 品目   | 本 度      | 昭34   | 35    | 36    | 37    | 38    | 39    | 40    | 41    | 平均    |
|------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| ビール  | 上位<br>1社 | 42.3  | 44.6  | 41.6  | 45.0  | 46.4  | 46.2  | 47.3  | 50.9  | 45.5  |
|      | 3        | 98.2  | 98.0  | 97.4  | 98.7  | 97.0  | 96.8  | 96.1  | 96.0  | 97.2  |
|      | 4        | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |       |       |       |       |       |
|      | 5        |       |       |       |       | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 99.3  | 99.8  |
|      | 6        |       |       |       |       |       |       |       | 100.0 | 100.0 |
|      |          |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| 綿糸   | 1        | 6.0   | 6.0   | 5.7   | 5.7   | 5.4   | 5.6   | 5.4   | 10.8  | 6.3   |
|      | 3        | 17.7  | 17.6  | 16.7  | 16.6  | 15.7  | 16.2  | 15.3  | 20.4  | 17.0  |
|      | 5        | 27.7  | 28.0  | 27.0  | 26.9  | 25.2  | 25.7  | 24.2  | 29.0  | 26.7  |
|      | 10       | 48.4  | 49.0  | 47.1  | 48.2  | 44.8  | 45.1  | 43.2  | 46.9  | 46.6  |
| 洋紙   | 1        | 17.0  | 15.5  | 15.5  | 15.8  | 15.9  | 15.9  | 16.0  | 15.2  | 15.9  |
|      | 3        | 32.6  | 36.5  | 37.5  | 39.9  | 40.5  | 40.9  | 40.9  | 40.7  | 39.3  |
|      | 5        | 48.5  | 47.3  | 47.0  | 49.5  | 50.5  | 51.3  | 50.7  | 50.6  | 49.4  |
|      | 10       | 64.6  | 64.1  | 64.6  | 65.9  | 66.4  | 66.9  | 65.4  | 65.5  | 65.4  |
| 合成繊維 | 1        | 40.3  | 36.1  | 36.5  | 37.6  | 37.2  | 33.0  | 27.9  | 27.1  | 34.5  |
|      | 3        | 66.0  | 64.7  | 68.1  | 67.2  | 63.4  | 58.3  | 52.9  | 50.4  | 61.4  |
|      | 5        | 79.6  | 77.8  | 80.3  | 80.7  | 78.2  | 73.0  | 69.2  | 65.5  | 75.5  |
|      | 10       | 97.0  | 96.1  | 95.6  | 96.0  | 93.1  | 90.4  | 89.4  | 87.6  | 93.2  |
| ナイロン | 1        | 78.0  | 78.0  | 75.7  | 73.8  | 67.5  | 53.9  | 47.3  | 45.8  | 65.0  |
|      | 2        | 100.0 | 100.0 | 100.  | 100.0 |       |       |       |       |       |
|      | 3        |       |       |       |       | 98.5  | 89.4  | 81.6  | 77.7  | 86.8  |
|      | 4        |       |       |       |       | 100.0 |       |       |       |       |
|      | 5        |       |       |       |       |       | 98.6  | 95.4  | 94.6  | 96.2  |
|      | 6        |       |       |       |       |       | 100.0 | 100.0 | 100.6 | 100.0 |
| ナフサ  | 1        | 24.4  | 22.7  | 23.5  | 21.5  | 19.6  | 17.1  | 17.4  | 14.7  | 20.1  |
|      | 3        | 61.7  | 64.8  | 64.3  | 56.3  | 54.9  | 48.4  | 45.9  | 41.8  | 54.8  |
|      | 5        | 93.2  | 91.6  | 92.0  | 86.9  | 81.9  | 73.6  | 65.7  | 62.9  | 81.0  |
|      | 6        | 100.0 |       |       |       |       |       |       |       |       |
|      | 8        |       | 100.0 | 100.0 |       |       |       |       |       |       |
|      | 9        |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
|      | 10       |       |       |       | 100.0 | 97.0  | 96.0  | 89.6  | 90.0  | 94.9  |
|      |          |       |       |       |       |       |       |       |       |       |
| 銑鉄   | 1        | 28.9  | 29.4  | 27.5  | 26.6  | 25.0  | 25.1  | 23.6  | 23.0  | 26.2  |
|      | 3        | 70.4  | 69.4  | 69.2  | 65.7  | 63.3  | 62.9  | 57.9  | 56.6  | 64.4  |
|      | 5        | 82.9  | 82.3  | 83.8  | 83.0  | 83.4  | 84.3  | 82.4  | 81.9  | 83.1  |
|      | 10       | 95.3  | 95.3  | 95.6  | 96.4  | 97.0  | 96.1  | 97.8  | 98.2  | 95.7  |

[illegible]

| 業 種         | 年 度 | 昭35   | 36    | 37    | 38    | 39    | 40    | 41    | 平均    |
|-------------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 電気冷蔵庫       | 1   | 26.8  | 24.0  | 23.6  | 24.2  | 22.2  | 22.8  | 24.5  | 24.1  |
|             | 3   | 73.3  | 65.9  | 67.0  | 65.6  | 63.3  | 60.7  | 61.7  | 65.4  |
|             | 5   | 85.9  | 78.6  | 77.5  | 84.2  | 83.3  | 79.6  | 78.8  | 81.0  |
|             | 10  | 100.0 | 100.0 | 97.4  | 99.0  | 98.0  | 98.9  | 99.1  | 98.9  |
| テレビ<br>受信機  | 1   | 18.4  | 19.5  | 22.0  | 20.6  | 18.7  | 18.7  | 20.5  | 19.8  |
|             | 3   | 50.9  | 52.3  | 53.6  | 46.9  | 49.3  | 46.9  | 49.4  | 49.6  |
|             | 5   | 71.1  | 70.9  | 71.4  | 67.3  | 68.9  | 65.6  | 68.1  | 69.1  |
|             | 10  | 98.8  | 97.8  | 98.0  | 95.5  | 94.5  | 95.3  | 93.5  | 96.2  |
| トラン<br>ジスター | 1   | 25.9  | 26.0  | 23.2  | 25.1  | 23.4  | 21.1  | 24.0  | 24.1  |
|             | 3   | 73.8  | 68.5  | 66.4  | 69.3  | 66.5  | 63.0  | 61.8  | 66.8  |
|             | 5   | 91.0  | 83.8  | 81.7  | 82.2  | 81.4  | 81.1  | 81.6  | 83.2  |
|             | 10  | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 |
| 鋼 船         | 1   | 16.5  | 14.3  | 15.2  | 25.0  | 19.9  | 24.0  | 21.6  | 19.5  |
|             | 3   | 33.5  | 35.1  | 37.7  | 60.4  | 51.3  | 54.6  | 53.4  | 46.6  |
|             | 5   | 44.8  | 49.1  | 51.0  | 76.8  | 70.7  | 73.3  | 70.4  | 62.3  |
|             | 10  | 61.9  | 66.5  | 75.5  | 95.5  | 93.5  | 92.7  | 91.6  | 82.5  |
| 医 薬 品       | 1   |       |       |       | 13.2  | 13.9  | 10.8  | 9.8   | 11.9  |
|             | 3   |       |       |       | 26.8  | 27.6  | 25.3  | 23.6  | 25.8  |
|             | 5   |       |       |       | 36.6  | 38.1  | 35.5  | 33.1  | 35.8  |
|             | 10  |       |       |       | 54.1  | 54.3  | 52.1  | 48.9  | 52.4  |
| セメント        | 1   | 18.8  | 18.4  | 18.2  | 17.5  | 16.5  | 15.8  | 15.1  | 17.2  |
|             | 3   | 49.5  | 47.8  | 47.1  | 47.5  | 44.4  | 41.9  | 43.6  | 46.0  |
|             | 5   | 64.4  | 62.3  | 62.9  | 63.0  | 59.6  | 56.5  | 58.7  | 61.1  |
|             | 10  | 82.5  | 81.0  | 82.0  | 82.0  | 79.3  | 76.1  | 79.2  | 80.3  |
| 新聞用紙        | 1   | 29.6  | 31.4  | 30.2  | 29.9  | 29.1  | 29.0  | 27.5  | 29.2  |
|             | 3   | 56.1  | 58.4  | 63.6  | 62.9  | 62.3  | 62.4  | 63.0  | 61.2  |
|             | 5   | 69.6  | 79.0  | 76.9  | 77.9  | 77.5  | 99.3  | 77.4  | 76.5  |
|             | 10  | 85.9  | 91.6  | 92.0  | 92.9  | 94.3  | 94.8  | 95.4  | 92.4  |
| トラクター       | 1   | 60.8  | 53.8  | 59.2  | 53.1  | 55.7  | 57.1  | 49.9  | 55.7  |
|             | 3   | 98.2  | 93.5  | 93.0  | 90.9  | 88.6  | 79.4  | 73.2  | 88.1  |
|             | 5   | 99.8  | 99.4  | 99.5  | 95.9  | 94.9  | 88.5  | 84.5  | 94.6  |
|             | 10  | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 99.8  | 98.3  | 98.0  | 99.4  |

資料 公正取引委員会事務局, 日本の産業集中

主要産業における生産集中度 昭和38年~41年

集中度に関しては、市場占拠率でみる場合、品目別に各企業のシェアをみるのが正しい。けれども、後にみるように、集中度と利潤率を対応させるとなると、一企業は多品種を生産しているから、品目ベースと企業ベースとは合わなくなる。そして利潤率は企業ベースで計算されている。このような困難な問題を念頭に置いて、集中度に関しては、産業別と品目別の両方についてみる。3.8表は、集中度の動きを示したものであるが、これによると、集中度の格差とその存在形態は、各産業によってまちまちである。動態的にみて、格差の縮小しつつある産業は、概して新製品、新産業に多く、成長産業であり、ポリエチレン、ポリスチレン、トランジスターなどは、その典型的なものである。これに対して、集中度の格差が固定化しているのは、時計写真フィルムなどである。

対象期間全体として、集中度の格差の存在状況によって、同質的寡占市場と非同質的寡占市場の区別をつけることが可能である。上位企業の集中度が高くとも、トップメーカーとして2位以下とに格差があるかないかで、競争形態は異なってくる。トップメーカーと2位以下とに格差のある産業では対抗力の形成がないため、寡占的相互依存関係が生じやすい。第3.9表では、対象期間の平均の上位1社と2社の累積集中度および、1位と2位の集中度の

第3.9表

|                  | パル<br>プ紙 | 医薬<br>品 | 化学<br>繊維 | 自動<br>車 | 板ガ<br>ラス | 鉄鋼<br>業 | 石油<br>精製 | 有機工<br>業製品 | セメ<br>ント | 時計    | 産業用<br>機 械 |
|------------------|----------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|------------|----------|-------|------------|
| 上位1社集中度          | 17.93    | 36.73   | 31.78    | 36.79   | 60.91    | 18.16   | 28.12    | 18.8       | 35.28    | 66.49 | 28.21      |
| 上位2社<br>累積集中度    | 32.1     | 51.8    | 51.78    | 68.67   | 89.3     | 32.41   | 45.6     | 33.7       | 64.64    | 86.93 | 39.55      |
| 1位と2位の<br>シェアの格差 | 3.76     | 21.66   | 11.78    | 4.91    | 32.52    | 3.91    | 10.64    | 3.9        | 5.9      | 46.05 | 16.87      |

公正取引委員会 日本の産業集中の付録。

”

主要産業における生産集中度、三菱、本邦事業成績分析（企業経営の分析）をもとに作成。

格差を示している。これによると、1位の集中度が高く、かつ2位以下とに差があるのは、板ガラス、時計である。2社の累積集中度が高くとも、対抗力が形成されているのは、自動車である。他の多くの業種は、同質的寡占と

言える。非同質的寡占で、しかも構造が硬直的であるのは、これまでの資料から板ガラス、時計、写真フィルム、それに非鉄金属のうちのアルミニウム地金である。他の業は、非同質的であっても、構造が流動的であるか（新製品部門）あるいは構造が硬直的でも同質的である。以上のように、市場構造を同質的、非同質的、あるいは流動的、硬直的という基準で分類しえた。問題は、このような市場構造に応じて、どのような市場行動、市場成果がもたらされるかである。それを次節で検討しよう。

- 1) 地位が固定化することは、少なくとも独占的体制の安定を示すものであるし、地位がいれかわることは、競争の激しさを意味する。企業順位の動態は、各産業ごとの性質をあらわすと同時に、一国経済全体についてみた上位企業の順位の変動性と安定性も、一国経済の性質をあらわすと言える。
- 2) パーリ=ミーネズは、その著 *The Modern Corporation and Private Property* において、最上位 200 社の資産の成長率は、総資産額を基準にして、他の会社の倍の速さで成長していることを示した。もしこの成長テンポが続くなら、1950年までに、200 社の占める資産は、金融関係以外の全会社資産の90%に及ぶことになる。宮崎義一、独占度測定の諸問題、越村編 最近の独占研究 所収、50頁参照。
- 3) A. D. H. Kaplan; *Big Enterprise in a Competitive System*, 1954.
- 4) G. J. Stigler, *The statistics of monopoly and Merger*, *Journal of Political Economy*, Feb. 1956.
- 5) 宮崎氏、前掲書59頁、22表、および M. A. Adelman, *A Note on Corporate concentration and Turnover*, *American Economic Review*, June 1954. 参照。

#### 4. 市場構造と市場成果

本節では、これまで述べてきた市場構造に対応する市場行動と市場成果について検討する。同質的寡占、非同質的寡占という構造に対応して、企業間の競争形態について、競争的寡占と協調的寡占の二つのタイプに分けることが可能である。では、この競争と協調とは、市場の成果として具体的にどのような形であらわれるか。市場構造が流動的であることは、すでに競争のあらわれであり、序列が固定化していることは、協調ないし寡占的秩序の確立を意味している。したがって、市場構造が流動的か硬直的かは、企業行動の結果としての市場成果であると思倣することができる。流動的であるというこ

とは、寡占的秩序が保たれていないということである。流動化の現象は、新企業の参入、とりわけ大企業の参入に見出せる。さらに、既存企業間の順位が激しく変動する場合は、競争が激しく、シェアが固定化していない。逆に硬直的な場合は、参入が阻止され、既存企業の順位も固定化している。

では、競争的寡占と協調的寡占は、市場成果として何をもたらすか。市場成果を、既存企業にとっての利益という観点からみると、成果はいうまでもなく価格と利潤の高位安定性であり、それこそ市場支配力のある企業の目的である。

まず価格について考えよう。競争的か協調的かは、価格の変動頻度と価格の長期的趨勢にあらわれる。競争的な場合、価格は変動的と考えられるから価格変動頻度は大であり、協調的な場合は、価格の安定化がもたらされるであろうから、価格の変動頻度は小さいと考えられる。もっとも、価格の変動頻度は、競争、協調とはかかわりなしに、生産物の性質によっても影響される面がある。たとえば耐久消費財などは、毎年その型が決められ、価格がその型について一定しているというものが多い。こういう場合は、価格変動頻度は、競争的産業でも小さくあらわれるだろう。したがって、価格変動頻度だけでは不充分であり、もうひとつ価格の長期的趨勢をみる必要がある。価格競争が行なわれているなら、価格は趨勢的に下落すると考えられるから、価格の低下傾向のある業種は、競争的業種であると考えられる。けれども、価格の低下傾向は、競争によってもたらされる場合と、その産業が停滞産業である場合、すなわち不況による価格低下と両方ある。不況期においても、価格が下方硬直的でしかも上昇傾向をもつということは、我国の場合にはめったにないのであり、不況期に価格が低下したからと言って、それが寡占的産業ではないなどとは言えないのである。かくて、価格の趨勢的低下を基準にするのは困難であり、むしろこれは補足的に考慮する指標というにとどまる。まず集中度の態様と価格との関係をみよう。第3.9表は、価格変動頻度である。これは昭和30—40年の11年間120ヶ月について、月次別の卸売物価指数をもとに、前月にくらべて価格の変化した月数の割合を示したものであ

第3.10表 価格変動瀬度

| 業種および品目 | %    | 業種および品目  | %    |
|---------|------|----------|------|
| 鉄 鋼     | 94.1 | その他化学工業  | 68.3 |
| 自動車     | 30.0 | 紙および板紙   | 82.5 |
| 通信機械    | 50.9 | 事務用家庭用機械 | 28.3 |
| 産業用機械   | 76.6 | 時計       | 0.8  |
| ガラス     | 24.1 | カメラ      | 30.8 |
| 石油精製    | 85.0 | セルロイド生地  | 10.8 |
| 油脂      | 75.0 | 化学繊維     | 11.1 |
| 無機工業薬品  | 87.5 | ポリエチレン   | 62.5 |
| 有機工業薬品  | 81.6 | ポリスチレン   | 55.5 |
| 医薬品     | 70.8 | ナイロン     | 13.9 |
| 合成ゴム    | 18.3 | 写真フィルム   | 21.6 |
| ブリキ     | 1.6  | アルミニウム地金 | 10.8 |
| 電気冷蔵庫   | 12.5 | トランジスター  | 86.1 |

資料、日銀卸売物価指数より算出

$$\text{変動瀬度} = \frac{\text{前月に比して価格の変化した月数}}{\text{対象期間の月数}}$$

る。これによると、価格変動瀬度の大きい業種は競争的業種に多く、これに対して価格変動瀬度の低い業種は、時計、アルミニウム地金、ガラス、セルロイド生地、ブリキ等で、集中度も高く、寡占的相互依存関係がみられると思われる業種である。この点から、集中度の態様と価格変動瀬度とは密接な関連があると思われる。先に示した集中度と、3.10表の価格変動瀬度とを業種ごとに対応させてみると、次のようになる。

 $Y_1$ ……………価格変動瀬度 $X_1'$ ……………上位1社集中度 $r$ ……………相関係数

$$Y_1 = 100,385 - 1,309X_1' \quad r = -0.801$$

価格変動瀬度と上位1社集中度との相関関係は、きわめて明瞭である。さらに、上位3社累積集中度との関係は、

$$Y_1 = 106.73 - 0.893X_3' \quad r = -0.521$$

 $X_3'$ ……………上位3社累積集中度

上位 5 社とでは、

$$Y_1 = 159.9 - 1,250X_5' \quad r = -0.575$$

$X_5'$ ……上位 5 社累積集中度

上位企業の集中度が高まるほど、価格が硬直的となることがわかる。けれども、上位 3 社と 5 社とでは、価格変動瀬度に及ぼす影響はさしてかわりなくむしろ上位 5 社集中度のほうがやや関連性が強いと言える。このことから、市場における競争の尺度としての価格の変動瀬度に影響するのは、とくにトップメーカーの集中度であると推測される。

このデータは、30—40年までの産業別集中度と、34—37年の品目別集中度と、両方を用いたものである<sup>1)</sup>。そこで産業別集中度を35—41年について計算し、上位 1 社集中度と価格変動瀬度との相関関係をみたところ次のようになった。

まず上位 1 社の集中度と価格の変動瀬度との関係は

$$Y_1 = 112,27851 - 1,64627X_1 \quad r = -0.79961$$

(275.81071) (0.19107)

高い負の相関関係がある。次に上位 2 社の累積集中度  $Y_2$  とでは

$$Y_1 = 28.39456 - 1.36760X_2 \quad r = -0.84177$$

(321.21879) (0.09015)

これはいっそう高い負の相関関係にある。しかし、このことは価格の硬直性に影響するのがトップメーカーの集中度の高さだという結論をくつがえすものではない。2 社累積集中度の高さには、もちろん上位 1 社の集中度の高さが大きく影響しているからである。そのことを明らかにするために、1 位と 2 位のシェアの差  $X_{1-2}$  をとり、それと価格の変動瀬度との関係をみると次のようになる。

$$Y_1 = 128.39456 - 1.36760X_{1-2} \quad r = -0.63745$$

(312.21879) (0.09915)

これも明らかに負の相関関係がみられる。たしかに、上位 2 社集中度の高さは、その市場の構造を特徴づけるものである。と同時に、トップメーカーの集中度の高さ、2 位以下との格差の存在も、市場構造を特徴づける有力な要

素である。

次に、利潤率と集中度の関係をみよう。第3.11表は各種利潤率の35—41年についての平均値である。

第3.11表 各種利潤率

| 業 種      | 利潤率 | 総使用資本<br>利潤率 | 自己資本<br>利潤率 | 資 本 金<br>利 潤 率 | 売 上 高<br>利 潤 率 |
|----------|-----|--------------|-------------|----------------|----------------|
| パ ル プ 紙  |     | 7.29         | 7.19        | 11.04          | 20.79          |
| 医 薬 品    |     | 24.86        | 20.7        | 39.66          | 44.12          |
| 化 学 繊 維  |     | 18.37        | 12.04       | 14.34          | 21.37          |
| 自 動 車    |     | 30.42        | 24.68       | 35.54          | 16.28          |
| ガ ラ ス    |     | 13.2         | 12.13       | 16.8           | 33.04          |
| 鉄 鋼 業    |     | 5.62         | 7.00        | 6.29           | 18.12          |
| 石 油 精 製  |     | 10.98        | 9.76        | 10.12          | 11.43          |
| 有機工業薬品   |     | 4.66         | 60.87       | 6.39           | 18.8           |
| セ メ ン ト  |     | 6.68         | 8.94        | 6.61           | 28.9           |
| 時 計      |     | 6.84         | 18.24       | 47.5           | 14.19          |
| その他産業用機械 |     | 15.51        | 16.12       | 15.00          | 24.87          |

三菱経済研究所 本邦事業成績分析（企業経営の分析）より算出。

集中度と利潤率の関係については、これまで種々議論があるが、日本についてはこれまでのところあまり明らかな相関関係は見出されていない。だが、それだからと言って、独占と利潤率とは関係がないと結論するのは早計である。集中度という場合、上位何社集中度をとるか、利潤率という場合にどの利潤率をとるか、さらに、その利潤率も、産業の利潤率の平均をとるのかまたは上位何社の利潤率の平均をとるのかで異なってくる。仮に産業の利潤率の平均をとった場合、その産業が独占的産業であっても、中に非独占的企業を含んでいて、産業内における利潤率に格差がある場合、産業の平均利潤率は低くなるかもしれない。また、上位企業の利潤率の平均値をとってみるとしても、上位何社をとるのが妥当であるかは即断できない。私は昭和42年度理論経済学会において、集中度と利潤率についての関係を計測し報告したが、その際、上位2社の売上高純利潤率の平均値をとって比較した。その結果は次の如くである。上位1社集中度と利潤率の関係は

$$Y_{1,2}' = 2.85701 + 0.05487X_1 \quad r = 0.55010 \\ (0.78973) \quad (0.00050)$$

いちおう、正の相関関係がみられる。けれども上位2社、3社集中度との関係となると、あまり良好な結果は得られない。今回、第3.11表に示した上位1社の各種利潤率と集中度の関係についてみたが、明らかな関係は必ずしも見出せなかった。だがその中で比較的關係が深かったのは、資本金利潤率  $Y_2$  と上位1社集中度である。

$$Y_2 = -0.30932 + 0.59657X_1 \quad r = 0.67998 \\ (74.66691) (0.05173)$$

また上位2社集中度との関連は

$$Y_2 = -3.85785 + 0.45250X_2 \quad r = 0.65360 \\ (111.43934) (0.03432)$$

このように、上位1社集中度、2社累積集中度と資本金利潤率とは、ともに正の相関関係が見出せる。さらに、トップメーカーの支配力が利潤率にどうあらわれるかをみるために、1位と2位との集中度の差  $X_{1-2}$  との関係をみると、

$$Y_2 = 9.77987 - 0.66847X_{1-2} \quad r = 0.63649 \\ (34.87955) (0.08202)$$

で、比較的フィット良好である。以上から、上位1社、2社の集中度との関係では、特に資本金利潤率と関連が深く、上位1社と2社以下との差のある場合、更にトップメーカーの利潤率は高いと言える。

次に、市場構造の流動性を測る指標としての、企業順位の変動頻度との関係をみよう。表3.7における、上位3社の間で順位のいれかわった回数を、企業順位の変動頻度  $N_1$  とし、トップメーカーのいれかわった回数を  $N_2$  とする。上位1社の集中度との関係は

$$N_1 = 11.02348 - 0.18336X_1 \quad r = -0.53655 \\ (15.08856) (0.01045)$$

負の相関が見出せる。上位2社累積集中度との関係は

$$N_1 = 12.30470 - 0.14299X_2 \quad r = -0.52877 \\ (21.38208) (0.00658)$$

これも負の相関が見出せる。したがって、上位1、2社の集中度が高いほど

企業順位は固定化するといえる。1位と2位のシェアの差  $X_{1-2}$  とでは

$$N_1 = 7.78736 - 0.19791X_{1-2} \quad r = -0.48245$$

$$(6.86317) \quad (0.01614)$$

と、あまり相関度はよくないが、いちおう逆相関になっている。次に、トップメーカーの地位の安定不安定を測る  $N_2$  の関係を見ると、集中度とはいちおう逆相関になっているが、相関係数はあまり高くない。シェアの差  $X_{1-2}$  との間では

$$N_2 = 1.96995 - 0.06214X_{1-2} \quad r = -0.46878$$

$$(0.72964) \quad (0.000172)$$

と、これも負の相関がみられるが、相関係数は高くない。これは、集中度の格差が小さいのに、トップメーカーの地位が安定している鉄鋼業などが含まれているためと考えられる。

企業順位の変動頻度を説明変数として、トップメーカーの自己資本利潤率  $Y_3$  との関係をみると

$$Y_3 = 8.57985 + 2.19003N_1 \quad r = 0.80573$$

$$(17.07288) \quad (0.32396)$$

$$Y_3 = 11.95017 + 6.92281N_2 \quad r = 0.82350$$

$$(11.94115) \quad (2.84318)$$

市場構造が流動的であるほど、トップメーカーの自己資本利潤率は高い。これは流動的市場構造は、成長産業に多く、成長産業では利潤率が高いということも関連している。

このように、利潤率の種類によって、市場構造の影響のあらわれ方はさまざまである。当該産業が成長産業か停滞産業かで集中度と利潤率の関係は異なってくる。停滞産業では、上位企業の集中度が高くと、利潤率は低くあらわれるかもしれない。だがもしトップメーカーまたは上位2社が支配力をもっていたとすれば、業界全体としては低利潤率でも、それにくらべて、上位企業は相対的に高利潤率が得られるかもしれない。利潤率に関しては、明確な関連を見出すのはなかなか困難である。

以上、市場構造と市場成果について、集中度の態様と、価格の変動頻度、

利潤率、企業順位の変動頻度をとって、相互の関連を検討してきた。これらの中ではっきりしているのは、集中度と価格の変動頻度との関連である。利潤率については、どの利潤率をとるかでかわってくる。またデーターをもっとふやさなければはっきりしたことは言えない。企業順位の変動頻度との関連についても同様であるが、しかしそれにもかかわらず、統計上の問題点を考慮して全体的に考察すると、市場構造の相異は、価格、利潤、市場の流動性と互いに関連性をもっており、同質的、非同質的寡占の区別、それに対応する流動的市場、硬直的市場の区別は、かなり有意義な市場構造上の概念たりうると言えよう。

これまでの検討において欠けていたものは、市場の成長との関係である。特に利潤率は、高成長であるほど高くなる。したがって、高利潤は、市場構造によってもたらされたものか、高成長によってもたらされたものか、そこを区別しなければならない。他方、高成長であるほど、集中度を引下げる傾向があることは、これまで何度も述べてきた。高成長は、市場における企業格差を解消させ、市場構造を同質的にする力となって作用する。それは寡占の特徴である高位安定利潤を不可能にするかもしれない。成長率の高さは、一方では高利潤をもたらす傾向をもちながら、他方では独占的高利潤を阻止する要因ともなる。集中の問題を考える場合に、このような市場の成長がもうひとつの重要なファクターである。次章では、市場の成長と企業の拡大集中との関連について考察をすすめる。

- 1) この部分に関しては、すでに昭和41年度、理論経済学会において報告し、季刊理論経済学に収録している。拙稿「わが国寡占市場における競争と協調」季刊理論経済学18巻2号。

## 第4章 市場の成長と企業の成長

### 1. 本章の課題

独占化ないし寡占化は、集中を基礎に進行する。そして集中現象は、規模

の経済を追求する企業の行動の結果としてもたらされると考えられる。ところで、企業が大規模になるに際して、自己の内部資金のみでは、充分な拡張ができない。そのため、外部資金への依存が不可避となるが、そのような拡張の仕方は漸次的なものであり、急激な飛躍的な拡張は、その他に、吸収合併によってもたらされる。もちろん他企業を吸収合併する場合には、他企業の取得費用が必要である。けれども、それは吸収、あるいは合併の仕方によって異なるであろう。この問題の詳しい検討は、別な章の課題とすることとして、ここでは、寡占化の進行にとって基本的な要因をなす企業規模の拡大一般について検討する。一方で企業規模が拡大すると同時に、他方で市場規模も拡張する。もし既存企業の規模の平均的な拡張率よりも、企業規模の拡張率の方が大であれば、当然、参入による企業数の増加があるだろう。このような場合、企業規模の拡張は、寡占化を進行させたとは言えない。逆に市場の成長率を上回る企業規模の増大があれば、企業数は減少しているだろう。もっとも、この関係はいっそう複雑である。特定企業は、市場規模の拡張率をはるかに上回って成長していても、市場に参入の余地を残して、中小規模企業が参入し、企業数は減少しないという場合もあろう。だがその場合企業数は仮にふえても、上位企業の集中は進んでおり、市場の構造としては寡占的となっている。先にも述べたように、寡占市場の特徴は、企業数よりも上位企業の集中にあると言える。

上位企業の集中度と、市場の成長率とには、何らかの関係が見出せる。一般に市場の成長が急速ほど、集中度はむしろ低下傾向を示し、市場の成長率が低下する場合に、集中が進行するということが指摘されている。又、市場の規模と企業の規模の比率を市場の相対的規模とするならば、市場の相対的規模が小さい方が、独占的政策を行使しうる<sup>1)</sup>。市場の成長率の低下は、市場の相対的規模を拡張させないかあるいは企業の成長が上回っている場合には、低下させる。

市場規模の拡張期に集中度が低下するという事実は、市場規模の拡大が参入を誘発したり、あるいは下位企業の上位へのキャッチアッププロセスが生

ずることによって説明される。けれども同時に、市場規模の拡張は、既存企業の規模の拡張を促進する面をもっている。この点を考慮すると、市場の規模と企業の規模との相対的な拡張の度合いは、市場構造に影響を与えると考えられる。

本章では、①規模の拡大についてのアメリカの実証研究を検討し、②市場の成長と企業の成長の相対的關係を日本について分析する。

- 1) F. Modigliani ; New Development on the Oligopoly Front, Journal of Political Economy, Feb. 1958.

## 2. 市場の拡張と規模の経済

企業規模の拡大は、規模の経済の追求が基本要因であって、資本の拡大は規模の経済とは無關係に、それ自身が自己目的であると言える。もしこの両者に不均衡が生じたならばどうなるであろうか。当然、資本は、企業を独立させて資本系列のもとでの支配という形態をとるであろう。一般に規模の経済という場合、最適規模の存在が前提され、最小最適規模の経営が最も効率的と考えられている。しかし、規模の経済を生産過程において重視するならば、それは企業規模よりも工場規模であろう。

19世紀は、生産の規模が急速に増大した時代であった。だが、20世紀に入って、この生産規模の増加は、最適規模を越えているという議論も出ている。たとえば、W.L. ソープは、規模の拡大は19世紀の現象であって、1890年頃には、もう終ったと述べている<sup>1)</sup>。他方、最適規模は急速に拡張しつづけるという見解も多い。逆に、ブレアは、プラント規模の増加は殆んどの産業で終ったという見解を示している<sup>2)</sup>。

このような種々の見解の中で、S.S. サンズは、20世紀におけるアメリカの産業の規模の拡大について実証的分析を試みている<sup>3)</sup>。サンズは、生産規模に関して、企業規模よりもプラント規模をとるべきであるとして、一事業所当りの物的生産量をもって生産規模をあらわしている。これはたしかに、雇用の規模や付加価値や資本規模をとるよりも、規模をあらわすのに適切であ

ると言えよう。雇用の規模は、労働節約的な技術の採用がある場合は、生産の規模にくらべて過少評価することになる。又、付加価値や資本は、規模の動きと必ずしも正比例的ではない。サンズは、1904～1947年について5年間を単位とし、5年ごとの平均の成長率をもとに、事業所あたりの産出量の増加率を示した。これが3.12表である。

第3.12表 事業所数、産出量、事業所当り産出量の相対的成長率

1904—1947

| 産 業           | 事 業 所 数 | 産 出 量  | 事 業 所 当<br>り 産 出 量 |
|---------------|---------|--------|--------------------|
| 製 造 業 全 体     | 1.0281  | 1.1868 | 1.1544             |
| タ バ コ         | .9028   | 1.6970 | 1.8798             |
| カーボン・ブラック     | 1.1539  | 1.6324 | 1.4147             |
| 化 学           | 1.1933  | 1.5968 | 1.3381             |
| コ ー ク ス 化 合 物 | .8940   | 1.1899 | 1.3310             |
| ガ ラ ス         | .9329   | 1.2396 | 1.3288             |
| 小 麦 粉         | .7690   | 1.0031 | 1.3044             |
| 製 粉           | .8857   | 1.1370 | 1.2837             |
| 葉 巻 煙 草       | .7584   | .9496  | 1.2521             |
| 銑 鉄           | .8787   | 1.0996 | 1.2514             |
| 果 物 野 菜 かんづめ  | 1.0617  | 1.3238 | 1.2469             |
| 石 油 精 製       | 1.2001  | 1.4883 | 1.2401             |
| 銅             | .9300   | 1.1470 | 1.2343             |
| 蔗 糖           | .8665   | 1.0598 | 1.2231             |
| 塩             | .8793   | 1.0703 | 1.2172             |
| 亜 鉛           | .9578   | 1.1508 | 1.2015             |
| ビ ア ノ         | .7337   | .8804  | 1.2000             |
| 酒 類           | .8733   | 1.0386 | 1.1893             |
| 石 け ん         | .9657   | 1.1429 | 1.1835             |
| 鋼 材           | .9946   | 1.1713 | 1.1777             |
| ビ ー ト 糖       | 1.0494  | 1.2249 | 1.1672             |
| 石 灰           | .9095   | 1.0596 | 1.1650             |
| 爆 薬           | .9539   | 1.1033 | 1.1567             |
| 輸 送 用 車       | .5739   | .6690  | 1.1556             |
| 紙 ・ パ ル プ     | 1.6220  | 1.1616 | 1.1366             |
| 皮             | .9261   | 1.0515 | 1.1354             |
| 米 飯           | 1.0178  | 1.1500 | 1.1292             |
| 織 物           | 1.1109  | 1.2422 | 1.1182             |

| 産 業         | 事 業 所 数 | 産 出 量  | 事 業 所 当 量 |
|-------------|---------|--------|-----------|
| 着 色 ・ ワ ニ ス | 1.1131  | 1.2320 | 1.1068    |
| セ メ ン ト     | 1.0360  | 1.1434 | 1.1037    |
| 木 綿         | .8990   | .9842  | 1.0948    |
| ゴ ム 靴       | .9661   | 1.0523 | 1.0892    |
| 毛 皮         | 1.3366  | 1.4529 | 1.0870    |
| ウ ー ル       | .9694   | 1.0533 | 1.0865    |
| 土 石         | .8926   | .9650  | 1.0811    |
| 鉛           | .9171   | .9898  | 1.0783    |
| 肥 料         | 1.0638  | 1.1454 | 1.0767    |
| 魚 か ん づ め   | 1.0091  | 1.0813 | 1.0915    |
| 皮 靴         | 1.0052  | 1.0715 | 1.0660    |
| か み た ば こ   | .8926   | .9156  | 1.0493    |
| 製 氷         | .8747   | .9072  | 1.0372    |
| 帽 子         | .9548   | .9844  | 1.0310    |
| 皮 手 袋       | .9949   | 1.0151 | 1.0203    |
| 肉           | 1.0645  | 1.0769 | 1.0115    |
| ボ タ ン       | 1.0378  | 1.0490 | 1.0108    |
| 索 具 綱       | 1.0412  | 1.0100 | .9900     |

数値は相対的成長  $(1+r)$   $r$ は成長率。

出所 S. S. Sands. Changes in Scale of Production in United States Manufacturing Industry, 1904—1947.

この表の数字は、5年間を一期間とした平均成長率を  $r$  とした場合の相対的成長率  $(1+r)$  を示している。対象期間中、事業所の増加率は、全製造業平均で1.0281 (2.81%の成長率) 産出量は1.1868, すなわち 18.68 %の成長率, かくて、1事業所当り産出量増加率は、1.1544すなわち、15.44 %の成長率である。したがって製造業の平均をとってみると、アメリカの製造業では、5年当り平均15%のプラント規模の増大であった。3.13表は、それ以外の産業で対象期間の異なるものについて同様に計算したものである。3.13表の35業種のうち、32業種までが事業所当り産出量を増加させている。又、3.12表、3.13表の両方で81の業種のうち、77業種までが、同様に規模の増加を示している。これは、あくまで産出量の増加率を事業所数の増加率で割って出したものであるが、そこから産業ごとの規模の拡張率を伺い知ることができよう。規模の増加率の高い産業は、自動車、モーターサイクル、タバコ

第3.13表 各期における事業所数, 産出量, 事業所当り産出量の増加率

| 産 業       | 平 均 成 長 率 |        |        |                |
|-----------|-----------|--------|--------|----------------|
|           | 期 間       | 事業所数   | 産 出 量  | 事業所当り<br>産 出 量 |
| 自 動 車     | 1904—1937 | .9836  | 2.3073 | 2.3458         |
| 自動二輪自転車   | 1904—1929 | .8066  | 1.2271 | 1.5213         |
| タイヤチューブ   | 1921—1947 | .7853  | 1.1869 | 1.5114         |
| マ ー ガ リ ン | 1925—1947 | .8803  | 1.2588 | 1.4300         |
| チヨコレート    | 1921—1947 | .8804  | 1.2112 | 1.3757         |
| 蒸 溜 酒     | 1904—1939 | .8323  | 1.1347 | 1.3633         |
| ウールフェルト   | 1904—1939 | .9113  | 1.1885 | 1.3042         |
| 木 材 加 工   | 1904—1938 | .8787  | 1.1247 | 1.2800         |
| バ タ ー     | 1904—1937 | .9580  | 1.2076 | 1.2605         |
| リノリウム     | 1904—1939 | .9660  | 1.2157 | 1.2585         |
| じゅうたん     | 1919—1947 | .8555  | 1.0523 | 1.2300         |
| 絹・人 絹     | 1904—1939 | 1.0716 | 1.2762 | 1.1909         |
| ビ ー ル     | 1904—1939 | 1.2269 | 1.4458 | 1.1784         |
| オイル・クロス   | 1925—1947 | .9350  | 1.0947 | 1.1708         |
| 菓 子       | 1904—1937 | .9388  | 1.0984 | 1.1700         |
| 毛 織 物     | 1925—1947 | .9361  | 1.0908 | 1.1653         |
| 絵具チューブ    | 1904—1929 | .9520  | 1.1060 | 1.1618         |
| チ ー ズ     | 1925—1939 | 1.0052 | 1.1555 | 1.1495         |
| アイスクリーム   | 1904—1939 | .9756  | 1.0908 | 1.1181         |
| 木 材 製 品   | 1923—1939 | .8978  | .9846  | 1.0969         |
| 綿         | 1904—1937 | 1.0000 | 1.0918 | 1.0918         |
| かんミルク     | 1904—1939 | 1.3096 | 1.4256 | 1.0886         |
| 火 器       | 1904—1939 | 1.0985 | 1.1944 | 1.0873         |
| 製 パ ン     | 1921—1947 | 1.0000 | 1.0746 | 1.0746         |
| 製 革       | 1904—1939 | 1.0808 | 1.1523 | 1.0662         |
| 船 舶       | 1904—1939 | .9864  | 1.0396 | 1.0539         |
| 第 2 次 金 属 | 1925—1939 | 1.0090 | 1.0500 | 1.0492         |
| 亜麻実加工物    | 1923—1947 | .8747  | .9072  | 1.0372         |
| テレビン油     | 1904—1939 | .9467  | .9712  | 1.0259         |
| レ ー ス     | 1914—1947 | 1.1388 | 1.1648 | 1.0228         |
| ワ イ ヤ ー   | 1904—1939 | 1.1622 | 1.1704 | 1.0071         |
| 非 鉄 金 属   | 1925—1939 | 1.0083 | 1.0141 | 1.0058         |
| れ ん が     | 1914—1947 | .9268  | .9142  | .9864          |
| 黄 麻       | 1904—1939 | 1.0164 | .9984  | .9823          |
| リ ン ネ ル   | 1904—1939 | .9549  | .8486  | .8889          |

出所 S. S. Sands. op. cit.

タイヤチューブ、マーガリン、カーボンブラック、化学、チョコレート、コークス、ガラス、小麦粉、蒸溜酒、帽子、ウールフェルト等であり、いずれも1事業所当り30%以上の増加である。

この表から、いろいろのことが推測される。規模の増加は、産出量の増加と事業所の増加の相対的關係であるから、産出量の増加率が高く、事業所の増加が追いつかなければ規模が大きくなる。製造業の平均は、産出量の増加率が18.7%，事業所の増加率が2.8%，事業所当り産出量の増加率が15.4%である。産出量の増加が大きいのに、事業所はそれほどふえないか、あるいは逆に減少している業種は、集中によって規模を増大させていると考えられる。規模の増加のいちじるしい産業の多くが、事業所数を減少させている。すなわち、 $r$ がマイナスであることは注目すべきであり、規模30%以上の増加をもたらした産業12のうち、カーボン、化学を除く10業種が、事業所数の減少をもたらしている。これはとりもなおさず集中のあらわれとみることができる。アメリカにおいて事業所の減少をとまなう規模の拡張があったということは注目すべきである。何故なら、通常、市場が拡張される場合、事業所規模も事業所数もともに増加すると考えられるからである。たしかに、規模拡張業種のうち、事業所数の増加しているカーボン、化学はともに産出量の5ヶ年当り成長率が、それぞれ63.24%、59.68%と高い。又、規模拡張の大きい小麦粉は、産出量が5ヶ年当り0.3%という低率の成長で、逆に事業所がかなり減少したために、規模が大きくなったという結果を示している。けれども製造業の産出量平均成長率18.68%にくらべた場合に、規模拡張業種のうち、煙草69.90%、ガラス23.96%、自動車30.73%、自動二輪車22.71%等、いずれも平均より高い成長率である。これらは、集中力の強かった業種と見做すことができる。

ブレアは、第1次大戦以来、新技術は資本節約的、分散的で、それは最適規模を小さくしていると言っている<sup>43</sup>。けれども、3.12表のサンプル中、46産業のうちの4業種のみが、1939—47年において、1919—23年よりも、平均プラント規模を低下させているだけで、後はみな1919—23年よりは、それ以

後において設備規模を大きくしている。この四つの業種というのは、砂糖、毛皮、索具、肉製品等である。これは重化学工業ではない。かくて、46業種中、42業種までが、第1次大戦後、規模の拡張をもたらした。たしかに資本節約的技術は、連続的なプロセスインダストリーに見出せるが、にもかかわらず、全産業に影響するほど大きなものとは言えない。

サンズのこの論文は、規模の経済性を解明する目的で書かれている。彼はこの論文で、費用節約的な革新が、資本節約的か中立的か労働節約的かとい問をなげかけ、おおよそ労働節約的であったと結論する。さらに又、停滞産業において、規模が縮小したという証拠も見出せないということに注目し、市場の縮小は、むしろ事業所数の減少をもたらしているのもあって、最適規模が縮小してはいないこと、市場が1個のプラントの生産能力を維持しうる限り、この事業所は最適規模に向かって行くであろうこと、すなわち需要の縮小は、最適規模の縮小ではなく、事業所の縮小をもたらし、生産規模は最適規模へ向かって大きくなって行くことを結論づけている。

サンズの議論は、ブレアが、第1次大戦後資本節約的技術進歩が中心となり、最適規模も小さくなっているという仮説を提示したことに対する批判であり、主として技術的観点から規模の経済性を論じたものである。これを集中の進行という観点におきかえて考えた場合、たしかに事業所単位の議論であって企業レベルの議論でないという批判は当然であろうが、規模の経済を指向した集中化への傾向を見出すことができる。それは成長産業において、いくつかの独占的業種では、事業所の縮小すら生じていること、逆に停滞産業においては、規模の縮小ではなく、事業所数の縮小が生じていること、このことを考え合わせると、企業の集中合併の背後にある事業所の統廃合が進行していたといえることができる。

1) W. L. Thorp., The Integration of Industrial Operations, Census Monograph No. III. 1924.

2) J. M. Blair., Technology and size. American Economic Review Supplement. May 1948.

- 3) S. S. Sands, Changes in scale of Production in United States Manufacturing Industry, 1904—1947. Review of Economics and Statistics.
- 4) Blair., op. cit.

### 3. 企業の成長と市場の成長——日本の場合——

本節では、我国の昭和30年代について、市場の成長と企業の成長の状況を検討する。昭和30年代の日本経済は、前半が高度成長期、後半、特に37年以後は、転型期としばしば言われている。そのような内容を含んだ昭和30年代において、全体として、市場の成長と企業の成長はどのような状況にあったか。

第3.14表は、規模別法人企業の分布状況を示したものである。数字は各規模企業の実数であり、( )内は、全企業数に占める割合を示している。これをみると、企業数は31—39の9年間に約50%近く増加している。だが、規模の小さい企業数の増加率は小さく、規模が大きくなるほど、企業数は増加している。これは、全企業に占める各規模企業の割合が、規模が大きくなるほど増加していることによっていっそう明らかである。資本金1~9億9,900万の企業は、35年から39年までの4年間に約倍増し、10億円以上の大企業もほぼ倍増している。全体としての分布が、大規模にかたよっていることは明らかである。企業数の40—50%程度の増加にくらべると、産出高の増加はこの期間にもっと多い。したがって、それは企業の規模の増加に反映しているわけであり、そのひとつのあらわれが規模別分布の変化である。このような規模の拡大傾向は、大企業への集中とどう結びついていたか。これを各業種別に検討してみよう。

3.15表は、主要業種について、上位1社、3社、5社の資本金、および売上高の累積額と産業全体の売上高の31、36、40年の数値とその増加倍率を示したものである。表におけるAは、上位1社、3社、5社、それぞれの資本金累積額についての36/31、Bは40/36、Cは40/31、Dは売上高についての36/31、Eは同じく40/36で、Fは40/31である。またGは、産業全体の資本

第3.14表 各年度、規模別法人分布の変化

( ) 内は比率  
小数2位未満4捨5入

製造業

| 資本金<br>(百万円) | 年度 | 昭和31年              | 32年                | 33年                | 34年                         | 35年                | 36年                | 37年                | 38年                | 39年                |
|--------------|----|--------------------|--------------------|--------------------|-----------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 合 計          |    | 131,936            | 149,561            | 154,090            | 166,328                     | 165,965            | 194,631            | 165,853            | 177,508            | 192,224            |
| 2 未 満        |    | 103,224<br>(78.24) | 115,127<br>(76.98) | 121,106<br>(78.59) | 114,562<br>74.14<br>(68.88) |                    | 147,937<br>(76.01) | 113,966<br>(68.72) | 111,583<br>(62.86) | 116,693<br>(60.71) |
| 2 ～ 4        |    | 13,840<br>(10.49)  | 15,740<br>(10.52)  | 16,596<br>(10.77)  | 19,538<br>12.64<br>(11.75)  | 152,003<br>(91.59) | 19,641<br>(10.09)  | 22,665<br>(13.67)  | 24,195<br>(13.63)  | 27,791<br>(14.46)  |
| 5 ～ 9        |    | 2,244<br>(1.70)    | 3,039<br>(2.03)    | 4,129<br>(2.68)    | 4,692<br>3.04<br>(2.82)     | 6,289<br>(3.76)    | 5,931<br>(3.05)    | 6,425<br>(3.87)    | 7,993<br>(4.50)    | 9,149<br>(4.76)    |
| 10 ～ 49      |    | 2,311<br>(1.75)    | 3,076<br>(2.06)    | 3,285<br>(2.13)    | 3,493<br>2.26<br>(2.10)     | 3,925<br>(2.36)    | 3,436<br>(1.77)    | 4,136<br>(2.49)    | 5,229<br>(2.95)    | 6,378<br>(3.32)    |
| 50 ～ 99      |    | 410<br>(0.31)      | 463<br>(0.31)      | 467<br>(0.30)      | 664<br>0.43<br>(0.40)       | 593<br>(9.36)      | 824<br>(0.42)      | 1,056<br>(6.64)    | 1,027<br>(0.58)    | 1,220<br>(0.63)    |
| 100 ～ 999    |    | 678<br>(0.51)      | 808<br>(0.54)      | 877<br>(0.57)      | 936<br>0.61<br>(0.56)       | 881<br>(0.53)      | 1,143<br>(0.59)    | 1,340<br>(0.81)    | 1,573<br>(0.87)    | 1,757<br>(0.91)    |
| 1,000 以上     |    |                    |                    |                    |                             | 277<br>(0.17)      | 355<br>(0.18)      | 422<br>(0.25)      | 465<br>(0.26)      | 465<br>(0.26)      |
| 解 散          |    | 2,615<br>(1.98)    | 1,977<br>(1.32)    | 2,670<br>(1.73)    | 4,634<br>3.00<br>(2.79)     |                    |                    |                    |                    |                    |
| 休 業          |    | 3,816<br>(2.89)    | 4,002<br>(2.68)    | 2,491<br>(1.62)    | 2,768<br>1.79<br>(1.66)     | 2,049<br>(1.23)    | 15,364<br>(7.89)   | 15,842<br>(9.55)   | 25,443<br>(14.33)  | 28,715<br>(14.94)  |
| 所 在 不 明      |    | 3,248<br>(2.46)    | 5,329<br>(3.56)    | 2,469<br>(1.60)    | 3,240<br>2.10<br>(1.95)     |                    |                    |                    |                    |                    |

法人企業統計年報 昭和31—39年より作成

第3.15表 市場の成長と企業の成長

(単位 )

|        | 上位1社, 3社,<br>5社累積 | 資 本 金 |     |     | 売 上 高 |     |     | 資 本 金             |                   |                   | 売 上 高             |                   |                   |
|--------|-------------------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
|        |                   | 31年   | 36年 | 40年 | 31年   | 36年 | 40年 | $\frac{36}{31}=A$ | $\frac{40}{36}=B$ | $\frac{40}{31}=C$ | $\frac{36}{31}=D$ | $\frac{40}{36}=E$ | $\frac{40}{31}=F$ |
| ビール製造業 | 1                 | 3     | 13  | 39  | 36    | 94  | 176 | 4.3               | 2.9               | 12.7              | 2.6               | 2.6               | 1.9               |
|        | 3                 | 9     | 28  | 79  | 90    | 228 | 350 | 3.1               | 2.8               | 8.8               | 2.5               | 1.5               | 1.5               |
|        | 5                 |       |     |     |       |     |     |                   |                   |                   | G                 | H                 | I                 |
|        | 全 体               |       |     |     | 90    | 228 | 350 |                   |                   |                   | 2.5               | 1.5               | 1.5               |
| 製粉業    | 1                 | 2     | 6   | 8   | 32    | 45  | 73  | 3.0               | 1.3               | 4.0               | 1.4               | 1.6               | 2.3               |
|        | 3                 | 4     | 12  | 18  | 66    | 96  | 145 | 3.0               | 1.5               | 4.5               | 1.5               | 1.5               | 2.2               |
|        | 5                 |       |     |     |       |     |     |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|        | 全 体               |       |     |     | 70    | 101 | 152 |                   |                   |                   | 1.4               | 1.5               | 2.2               |
| 綿、スフ紡績 | 1                 | 8     | 16  | 24  | 49    | 58  | 134 | 4.4               | 2.1               | 9.3               | 2.1               | 1.7               | 3.6               |
|        | 3                 | 24    | 37  | 70  | 130   | 161 | 287 | 1.5               | 2.3               | 7.0               | 2.2               | 1.8               | 4.0               |
|        | 5                 | 31    | 50  | 89  | 173   | 217 | 374 | 2.9               | 2.3               | 6.5               | 2.2               | 2.0               | 4.2               |
|        | 全 体               |       |     |     | 212   | 377 | 587 |                   |                   |                   | 2.2               | 2.0               | 4.5               |
| 化学繊維   | 1                 | 9     | 40  | 84  | 54    | 115 | 194 | 4.4               | 2.1               | 9.3               | 2.1               | 1.7               | 3.6               |
|        | 3                 | 26    | 78  | 181 | 103   | 225 | 411 | 3.0               | 2.3               | 7.0               | 2.2               | 1.8               | 4.0               |
|        | 5                 | 34    | 98  | 222 | 136   | 293 | 570 | 2.9               | 2.3               | 6.5               | 2.2               | 2.0               | 4.2               |
|        | 全 体               |       |     |     | 158   | 354 | 712 |                   |                   |                   | 2.2               | 2.0               | 4.5               |

|             | 上位1社, 3社,<br>5社 累積 | 資 本 金 |     |     | 売 上 高 |     |     | 資 本 金             |                   |                   | 売 上 高             |                   |                   |
|-------------|--------------------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
|             |                    | 31年   | 36年 | 40年 | 31年   | 36年 | 40年 | $\frac{36}{31}=A$ | $\frac{40}{36}=B$ | $\frac{40}{31}=C$ | $\frac{36}{31}=D$ | $\frac{40}{36}=E$ | $\frac{40}{31}=F$ |
| パ<br>ル<br>プ | 1                  | 6     | 8   | 15  | 12    | 16  | 47  | 1.2               | 1.9               |                   | 1.3               |                   |                   |
|             | 3                  | 14    | 17  | 36  | 41    | 43  | 141 | 1.2               | 2.1               |                   | 1.0               |                   |                   |
|             | 5                  | 21    | 26  | 51  | 60    | 68  | 189 | 1.2               | 2.0               |                   | 1.1               |                   |                   |
|             | 全 体                |       |     |     | 65    | 79  | 436 |                   |                   |                   | 1.2               |                   |                   |
| 紙           | 1                  | 2     | 9   |     | 23    | 35  |     | 4.5               |                   |                   | 1.5               |                   |                   |
|             | 3                  | 10    | 18  |     | 57    | 87  |     | 1.8               |                   |                   | 1.5               |                   |                   |
|             | 5                  | 14    | 32  |     | 77    | 128 |     | 2.3               |                   |                   | 1.7               |                   |                   |
|             | 全 体                |       |     |     | 107   | 202 |     |                   |                   |                   | 1.9               |                   |                   |
| 無機工業薬品      | 1                  | 8     | 25  | 45  | 26    | 51  | 98  | 3.1               | 1.8               | 5.6               | 2.0               | 1.9               | 3.8               |
|             | 3                  | 12    | 62  | 127 | 69    | 140 | 254 | 5.2               | 2.1               | 10.6              | 2.0               | 1.8               | 3.7               |
|             | 5                  | 19    | 88  | 167 | 101   | 212 | 332 | 3.1<br>4.6<br>2.7 | 1.9               | 8.8               | 2.1               | 0.8               | 3.3               |
|             | 全 体                |       |     |     | 237   | 406 | 661 |                   |                   |                   | 1.7               | 1.6               | 2.8               |
| 有機工業薬品      | 1                  | 4     | 10  | 46  | 11    | 24  | 77  | 2.5<br>1.2        | 4.6               | 11.5              | 2.2               | 3.2               | 7.0               |
|             | 3                  | 8     | 27  | 80  | 29    | 65  | 155 | 3.4<br>1.6        | 3.0               | 10.0              | 2.2               | 2.4               | 5.3               |
|             | 5                  | 11    | 38  | 107 | 43    | 87  | 209 | 3.4<br>1.6        | 2.8               | 9.7               | 2.0               | 2.4               | 4.9               |
|             | 全 体                |       |     |     | 61    | 128 | 331 |                   |                   |                   | 2.1               | 2.6               | 5.4               |
| 軽<br>車<br>輛 | 1                  | 1     | 25  | 50  | 15    | 69  | 123 | 25.0<br>8.3       | 2.0               | 50.0              | 4.6               | 1.8               | 8.2               |
|             | 3                  | 4     | 43  | 97  | 36    | 142 | 313 | 10.8<br>3.6       | 2.3               | 24.3              | 3.9               | 2.2               | 8.7               |
|             | 5                  | 5     | 54  | 181 | 48    | 167 | 417 | 10.1<br>3.4       | 2.2               | 24.2              | 3.5               | 2.5               | 8.7               |
|             | 全 体                |       |     |     | 60    | 179 | 439 |                   |                   |                   |                   | 2.5               | 7.3               |

|                                 | 上位1社, 3社,<br>5社 累積 | 資 本 金 |     |     | 売 上 高 |     |     | 資 本 金             |                   |                   | 売 上 高             |                   |                   |
|---------------------------------|--------------------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
|                                 |                    | 31年   | 36年 | 40年 | 31年   | 36年 | 40年 | $\frac{36}{31}=A$ | $\frac{40}{36}=B$ | $\frac{46}{31}=C$ | $\frac{36}{31}=D$ | $\frac{40}{36}=E$ | $\frac{40}{31}=F$ |
| 医<br>薬<br>品                     | 1                  | 4     | 15  | 30  | 17    | 43  | 101 | 3.8               | 2.0               | 7.5               | 2.5               | 2.4               | 5.9               |
|                                 | 3                  | 7     | 25  | 56  | 35    | 76  | 171 | 3.6               | 2.2               | 8.0               | 2.2               | 2.3               | 4.9               |
|                                 | 5                  | 8     | 31  | 72  | 43    | 93  | 220 | 3.9               | 2.3               | 9.0               | 1.3               | 2.4               | 5.1               |
|                                 | 全 体                |       |     |     | 49    | 113 | 275 |                   |                   |                   | 2.3               | 2.4               | 5.6               |
| そ<br>の<br>他<br>化<br>学<br>工<br>業 | 1                  | 4     | 5   | 2   | 14    | 21  | 51  | 1.3               | 0.4               | 0.5               | 10.5              | 2.4               | 3.6               |
|                                 | 3                  | 8     | 10  | 32  | 28    | 51  | 113 | 1.3               | 3.2               | 4.0               | 1.8               | 2.2               | 4.0               |
|                                 | 5                  | 9     | 11  | 35  | 31    | 57  | 131 | 1.2               | 3.3               | 3.9               | 1.8               | 2.3               | 4.2               |
|                                 | 全 体                |       |     |     | 32    | 57  | 131 |                   |                   |                   | 1.8               | 2.3               | 4.1               |
| 石<br>油<br>精<br>製<br>工<br>業      | 1                  | 9     | 20  | 30  | 64    | 121 | 242 | 1.2               | 1.5               | 3.3               | 1.9               | 2.0               | 3.8               |
|                                 | 3                  | 20    | 52  | 83  | 117   | 259 | 459 | 2.6               | 1.6               | 4.2               | 2.2               | 1.8               | 3.9               |
|                                 | 5                  | 29    | 73  | 122 | 158   | 342 | 623 | 2.5               | 1.7               | 4.2               | 2.2               | 1.8               | 3.9               |
|                                 | 全 体                |       |     |     | 188   | 427 | 844 |                   |                   |                   | 2.3               | 2.0               | 4.5               |
| ガ<br>ラ<br>ス                     | 1                  | 2     | 16  | 43  | 12    | 37  | 57  | 8.0               | 2.7               | 21.5              | 3.1               | 1.5               | 4.8               |
|                                 | 3                  | 4     | 24  | 61  | 19    | 62  | 92  | 6.0               | 2.5               | 15.0              | 3.3               | 1.5               | 4.8               |
|                                 | 5                  | 4     |     |     | 22    |     |     |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|                                 | 全 体                |       |     |     | 26    | 63  | 92  |                   |                   |                   |                   | 1.5               | 3.5               |
| セ<br>メ<br>ン<br>ト                | 1                  | 11    | 25  | 40  | 18    | 30  | 51  | 2.3               | 1.6               | 3.6               | 1.7               | 1.7               | 2.8               |
|                                 | 3                  | 19    | 39  | 68  | 40    | 64  | 100 | 2.1               | 1.7               | 3.6               | 1.6               | 1.6               | 2.5               |
|                                 | 5                  | 20    | 41  | 82  | 46    | 78  | 128 | 2.1               | 2.0               | 4.1               | 1.7               | 1.6               | 2.8               |
|                                 | 全 体                |       |     |     | 52    | 82  | 139 |                   |                   |                   | 1.6               | 1.7               | 2.7               |

|                                      | 上位1社, 3社,<br>5社 累積 | 資 本 金 |     |     | 売 上 高 |       |       | 資 本 金             |                   |                   | 売 上 高             |                   |                   |
|--------------------------------------|--------------------|-------|-----|-----|-------|-------|-------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
|                                      |                    | 31年   | 36年 | 40年 | 31年   | 36年   | 40年   | $\frac{36}{31}=A$ | $\frac{40}{36}=B$ | $\frac{40}{31}=C$ | $\frac{36}{31}=D$ | $\frac{40}{36}=E$ | $\frac{40}{31}=F$ |
| 鉄<br>鋼<br>業                          | 1                  | 25    | 116 | 252 | 127   | 239   | 312   | 4.6               | 2.2               | 10.1              | 1.9               | 1.3               | 2.5               |
|                                      | 3                  | 66    | 316 | 569 | 314   | 575   | 809   | 4.8               | 1.8               | 8.6               | 1.8               | 1.4               | 2.6               |
|                                      | 5                  | 84    | 427 | 809 | 407   | 719   | 1,173 | 5.1               | 1.9               | 9.6               | 1.8               | 1.6               | 2.9               |
|                                      | 全 体                |       |     |     | 669   | 1,271 | 1,930 |                   |                   |                   | 1.9               | 1.5               | 2.9               |
| 非<br>鉄<br>一<br>次<br>製<br>錬           | 1                  | 3     | 2   | 26  | 8     | 19    | 158   |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|                                      | 3                  | 7     | 17  | 66  | 17    | 33    | 297   |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|                                      | 5                  | 7     | 20  | 89  | 21    | 41    | 375   |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|                                      | 全 体                | 9     |     |     | 25    | 45    | 430   |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
| 油<br><br>脂                           | 1                  | 2     | 2   | 4   | 10    | 19    | 37    | 1.0               | 2.0               | 2.0               | 1.9               | 2.0               | 3.7               |
|                                      | 3                  | 4     | 12  | 17  | 23    | 50    | 84    | 3.0               | 1.4               | 4.3               | 2.2               | 1.7               | 3.7               |
|                                      | 5                  | 6     | 16  | 23  | 32    | 68    | 120   | 2.7               | 1.4               | 3.8               | 2.1               | 1.7               | 3.8               |
|                                      | 全 体                |       |     |     | 37    | 76    | 131   |                   |                   |                   | 2.1               |                   | 3.5               |
| 工<br>作<br>機<br>械                     | 1                  |       |     |     |       |       |       |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|                                      | 3                  |       |     |     |       |       |       |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|                                      | 5                  |       |     |     |       |       |       |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|                                      | 全 体                |       |     |     |       |       |       |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
| そ<br>の<br>他<br>産<br>業<br>用<br>機<br>械 | 1                  | 3     | 16  | 30  | 8     | 44    | 73    | 5.3               | 1.9               | 10.0              | 5.5               | 1.7               | 9.1               |
|                                      | 3                  | 6     | 29  | 49  | 17    | 76    | 117   | 4.8               | 1.7               | 8.2               | 4.5               | 1.5               | 6.9               |
|                                      | 5                  | 7     | 40  | 65  | 24    | 100   | 237   | 5.7               | 1.6               | 9.3               | 4.2               | 2.4               | 9.9               |
|                                      | 全 体                |       |     |     | 34    | 136   | 256   |                   |                   |                   | 4.0               | 2.8               | 7.5               |

|                                                | 上位1社, 3社,<br>5社 累積 | 資 本 金 |     |     | 売 上 高 |     |     | 資 本 金             |                   |                   | 売 上 高             |                   |                   |
|------------------------------------------------|--------------------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
|                                                |                    | 31年   | 36年 | 40年 | 31年   | 36年 | 40年 | $\frac{36}{31}=A$ | $\frac{40}{36}=B$ | $\frac{40}{31}=C$ | $\frac{36}{31}=D$ | $\frac{40}{36}=E$ | $\frac{40}{31}=F$ |
| 家庭用機械<br>事務用                                   | 1                  | 1     | 2   | 8   | 4     | 9   | 25  | 2.0               | 4.0               | 8.0               | 2.3               | 2.8               | 6.3               |
|                                                | 3                  | 2     | 5   | 22  | 7     | 17  | 71  | 2.5               | 4.5               | 11.0              | 2.4               | 4.2               | 10.1              |
|                                                | 5                  |       |     | 34  |       |     | 106 |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
|                                                | 全 体                |       |     |     | 7     | 17  | 131 |                   |                   |                   | 2.4               | 7.7               | 18.7              |
| 及<br>産<br>業<br>用<br>機<br>械<br>送<br>電<br>配<br>電 | 1                  | 20    | 123 | 158 | 62    | 266 | 349 | 6.3               | 1.3               | 7.9               | 4.3               | 1.3               | 5.6               |
|                                                | 3                  | 45    | 263 | 385 | 140   | 593 | 675 | 5.8               | 1.5               | 8.6               | 4.2               | 1.1               | 4.8               |
|                                                | 5                  | 51    | 288 | 421 | 160   | 663 | 725 | 5.7               | 1.5               | 8.3               | 4.1               | 1.1               | 5.2               |
|                                                | 全 体                |       |     |     | 178   | 723 | 866 |                   |                   |                   | 4.1               | 1.2               | 4.9               |
| 通信機械器具                                         | 1                  | 7     | 30  | 67  | 31    | 136 | 217 | 4.3               | 2.2               | 9.6               | 4.4               | 1.6               | 7.0               |
|                                                | 3                  | 12    | 68  | 142 | 52    | 231 | 390 | 5.7               | 2.1               | 11.8              | 4.4               | 1.7               | 7.5               |
|                                                | 5                  | 15    | 85  | 165 | 62    | 251 | 470 | 5.7               | 1.9               | 11.0              | 4.1               | 1.9               | 7.7               |
|                                                | 全 体                |       |     |     | 76    | 306 | 699 |                   |                   |                   | 4.0               | 2.3               | 9.2               |
| 電<br>気<br>機<br>械<br>器<br>具<br>其<br>他           | 1                  | 1     | 4   | 4   | 4     | 9   | 11  | 4.0               | 1.0               | 4.0               | 2.3               | 1.2               | 2.8               |
|                                                | 3                  | 3     | 10  | 15  | 9     | 23  | 32  | 3.3               | 1.5               | 5.0               | 2.6               | 1.4               | 3.6               |
|                                                | 5                  | 5     | 15  | 23  | 13    | 34  | 51  | 3.0               | 1.5               | 5.6               | 2.6               | 1.5               | 3.9               |
|                                                | 全 体                |       |     |     | 14    | 34  | 67  |                   |                   |                   | 2.4               | 2.0               | 4.8               |
| 自<br>動<br>車                                    | 1                  | 5     | 42  | 76  | 32    | 138 | 260 | 8.4               | 1.8               | 15.2              | 4.3               | 1.9               | 8.1               |
|                                                | 3                  | 15    | 84  | 201 | 79    | 342 | 606 | 5.6               | 2.4               | 13.4              | 4.3               | 1.8               | 7.7               |
|                                                | 5                  | 22    | 106 |     | 92    | 406 |     | 4.8               |                   |                   | 4.4               |                   |                   |
|                                                | 全 体                |       |     |     | 113   | 463 | 695 |                   |                   |                   | 4.1               | 1.5               | 6.2               |

|                      | 上位1社, 3社,<br>5社 累積 | 資 本 金 |     |     | 売 上 高 |     |     | 資 本 金             |                   |                   | 売 上 高             |                   |                   |
|----------------------|--------------------|-------|-----|-----|-------|-----|-----|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
|                      |                    | 30年   | 36年 | 40年 | 30年   | 36年 | 40年 | $\frac{36}{31}=A$ | $\frac{40}{36}=B$ | $\frac{40}{31}=C$ | $\frac{36}{31}=D$ | $\frac{40}{36}=E$ | $\frac{40}{31}=F$ |
| 金製<br>属造<br>製業<br>品業 | 1                  | 1     | 10  | 10  | 13    | 26  | 34  | 10.0              | 1.0               | 10.0              | 2.0               | 1.3               | 2.6               |
|                      | 3                  | 2     | 14  | 19  | 20    | 38  | 56  | 7.0               | 1.0               | 9.5               | 1.9               | 1.5               | 2.8               |
|                      | 5                  | 3     | 17  | 23  | 23    | 47  | 71  | 5.7               | 1.4               | 7.7               | 2.0               | 1.5               | 3.1               |
|                      | 全 体                |       |     |     | 25    | 51  | 75  |                   |                   |                   | 2.0               | 1.5               | 3.0               |
| 時<br>計               |                    |       |     |     |       |     |     |                   |                   |                   |                   |                   |                   |
| カ<br>メ<br>ラ          |                    |       |     |     |       |     |     |                   |                   |                   |                   |                   |                   |

・三菱, 本邦事業成績分析 (企業経営の分析) より算出作成

額の36/31, Hは40/36, Iは40/31である。Gは、その産業の高度成長期における成長率, Hは30年代後半の成長率, Iは30年代全体を通じての当該産業の成長率と言える。A～Fは、資本金, 売上額でみた上位1社, 3社, 5社の成長率であり, A～FとG・H・Iを同一期間に関して対応させると, 市場の成長率と上位企業の成長率の相対的な関係がわかる。

G・H・Iによって, 30年代の前半, 後半, 全体についての市場の成長の状況をみると, 高度成長産業は, 化学繊維, 有機工業薬品, 軽車輛, 医薬品その他化学工業, 石油精製業, 産業用機械, 事務用家庭用機械, 発電送電産業用機械, 通信機器, その他の電気機械, 自動車であり, これらは, 10年間に売上額が4倍になっている。この中で事務用家庭用機械は, 10年間に18.7倍にも増加している超高度成長産業である。次いで, 通信機械, 産業用機械, 軽車輛などが9倍を越えている。逆に3倍以下の低成長産業は, 製粉, 綿スフ紡, 無機工業薬品, 鉄鋼, セメントであり, 金属製品がちょうど3倍である。昭和30年代については機械産業のいちじるしい拡張が特徴的である。

又, 30年代の前半にくらべて後半に伸び率の低下したのは, ビール, 軽車輛, ガラス, 鉄鋼, 自動車, 重電気, 通信機器, 電気機械, 金属で, かなり数の数にのぼっており, 逆に後半いちじるしく伸びているのは事務用家庭用機械である。

高度成長産業で30年代の後半に伸び率の低下したのは, 高度成長期に最も伸びた分野であり, 普及過程をひととおり終えた30年代後半から, 伸び率が鈍化していると思倣うことができる。もっとも, 機械産業は好況不況の振幅が大きいので, 不況期を相対的に多く含む30年代後半において, 鈍化がいちじるしくあらわれているということもできる。だが40/31の値は, 好況不況をとともに含んだ倍率ということができるだろう。ここにかかげた範囲で30年代後半の新しい成長産業は, 事務用家庭用機械であるということができる。

さて, このような市場の成長に対する上位企業の成長はどうか。3.16表は

企業の資本金、売上高についての36/31, 40/36, 40/31の倍率を、産業全体の売上高の36/31, 40/36, 40/31でそれぞれ割って出したものである。それぞれの値が1を越えていれば、企業の成長率（1社、3社、5社それぞれについての）が、市場の成長率を上回っていたことになる。1社、3社、5社の累積額の増加が、いずれも市場の成長率を上回っている場合、1社、3社のみが上回っている場合、その逆の場合等、種々なケースに分かれる。

第3.16表 市場の成長に対する企業の成長

| 業 種           |   | A/G     | B/H     | C/I     | D/G     | E/H     | F/I     |
|---------------|---|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
|               |   | (36/31) | (40/36) | (40/31) | (36/31) | (40/36) | (40/31) |
| ビ ー ル         | 1 | 1.7     | 1.9     | 3.3     | 1.0     | 1.3     | 1.2     |
|               | 3 | 1.2     | 1.9     | 2.3     | 1.0     | 1.0     | 1.0     |
|               | 5 |         |         |         |         |         |         |
| 製 粉           | 1 | 2.1     | 0.9     | 1.8     | 1.0     | 1.1     | 1.1     |
|               | 3 | 2.1     | 1.0     | 2.1     | 1.1     | 1.0     | 1.0     |
|               | 5 |         |         |         |         |         |         |
| 綿・ス フ 紡       | 1 | 1.1     | 0.9     | 1.1     | 0.7     | 1.4     | 1.0     |
|               | 3 | 0.8     | 2.8     | 1.0     | 0.7     | 1.1     | 0.8     |
|               | 5 | 0.9     | 1.1     | 1.0     | 0.7     | 1.1     | 0.8     |
| 化 学 織 維       | 1 | 2.0     | 1.1     | 2.1     | 1.0     | 0.9     | 0.8     |
|               | 3 | 1.4     | 1.2     | 1.6     | 1.0     | 0.9     | 0.9     |
|               | 5 | 1.3     | 1.2     | 1.4     | 1.0     | 1.0     | 0.9     |
| パ ル プ         | 1 | 1.1     |         |         | 1.1     |         |         |
|               | 3 | 1.0     |         |         | 0.8     |         |         |
|               | 5 | 1.0     |         |         | 0.9     |         |         |
| 紙             | 1 | 2.4     |         |         | 0.8     |         |         |
|               | 3 | 1.0     |         |         | 0.8     |         |         |
|               | 5 | 1.2     |         |         | 0.9     |         |         |
| 無 機 工 業 薬 品   | 1 | 1.8     | 1.1     | 2.0     | 1.2     | 1.2     | 1.4     |
|               | 3 | 3.1     | 1.3     | 3.8     | 1.1     | 1.1     | 1.3     |
|               | 5 | 2.7     | 1.2     | 3.1     | 1.2     | 0.5     | 1.2     |
| 有 機 工 業 薬 品   | 1 | 1.2     | 1.8     | 2.1     | 1.1     | 1.2     | 1.3     |
|               | 3 | 1.6     | 1.2     | 1.9     | 1.1     | 0.9     | 1.0     |
|               | 5 | 1.6     | 1.1     | 1.8     | 1.0     | 0.9     | 0.9     |
| 軽 車 輛         | 1 | 8.3     | 0.8     | 6.9     | 1.5     | 0.9     | 1.1     |
|               | 3 | 3.6     | 0.9     | 3.3     | 1.3     | 0.9     | 1.2     |
|               | 5 | 3.4     | 0.9     | 3.3     | 1.2     | 1.0     | 1.2     |
| 医 薬 品         | 1 | 1.7     | 0.8     | 1.3     | 1.1     | 1.0     | 1.1     |
|               | 3 | 1.6     | 0.9     | 1.4     | 1.0     | 1.0     | 0.9     |
|               | 5 | 1.7     | 1.0     | 1.6     | 0.6     | 1.0     | 0.9     |
| そ の 他 化 学 工 業 | 1 | 0.7     | 0.2     | 0.1     | 5.8     | 1.0     | 0.9     |
|               | 3 | 0.7     | 1.4     | 1.0     | 1.0     | 1.0     | 1.0     |
|               | 5 | 0.7     | 1.4     | 1.0     | 1.0     | 1.0     | 1.0     |

| 業                        | 種 | A/G<br>(36/31) | B/H<br>(40/36) | C/I<br>(40/31) | D/G<br>(36/31) | E/H<br>(40/36) | F/I<br>(40/31) |
|--------------------------|---|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 石 油 精 製 業                | 1 | 1.0            | 0.8            | 0.7            | 0.8            | 1.0            | 0.8            |
|                          | 3 | 1.1            | 0.8            | 0.9            | 1.0            | 0.9            | 0.9            |
|                          | 5 | 1.1            | 0.9            | 0.9            | 1.0            | 0.9            | 0.9            |
| ガ      ラ      ス          | 1 | 3.3            | 1.8            | 6.1            | 1.3            | 1.0            | 1.4            |
|                          | 3 | 2.5            | 1.7            | 4.3            | 1.4            | 1.0            | 1.4            |
|                          |   |                |                |                |                |                |                |
| セ      メ      ソ      ト   | 1 | 1.4            | 0.9            | 1.3            | 1.1            | 1.0            | 1.0            |
|                          | 3 | 1.3            | 1.0            | 1.3            | 1.0            | 0.9            | 0.9            |
|                          | 5 | 1.3            | 1.2            | 1.5            | 1.1            | 0.9            | 1.0            |
| 鉄                      鋼 | 1 | 2.4            | 1.5            | 3.5            | 1.0            | 0.9            | 0.9            |
|                          | 3 | 2.5            | 1.2            | 3.0            | 1.0            | 0.9            | 0.9            |
|                          | 5 | 2.7            | 1.3            | 3.3            | 1.0            | 1.1            | 1.0            |
| 油                      脂 | 1 | 0.5            |                | 0.6            | 0.9            |                | 1.1            |
|                          | 3 | 1.4            |                | 1.2            | 1.1            |                | 1.1            |
|                          | 5 | 1.3            |                | 1.1            | 1.0            |                | 1.1            |
| 産 業 用 機 械                | 1 | 1.3            | 0.7            | 1.3            | 1.4            | 0.6            | 1.2            |
|                          | 3 | 1.2            | 0.6            | 1.1            | 1.1            | 0.5            | 0.9            |
|                          | 5 | 1.4            | 0.6            | 1.2            | 1.1            | 0.9            | 1.3            |
| 事務用家庭用機械                 | 1 | 0.8            | 0.5            | 0.4            | 1.0            | 0.4            | 0.3            |
|                          | 3 | 1.0            | 0.6            | 0.6            | 1.0            | 0.6            | 0.5            |
| 発電送電産業用機械                | 1 | 1.5            | 1.1            | 1.6            | 1.1            | 1.1            | 1.1            |
|                          | 3 | 1.4            | 1.3            | 1.8            | 1.0            | 1.0            | 1.0            |
|                          | 5 | 1.4            | 1.3            | 1.7            | 1.0            | 1.0            | 1.1            |
| 通 信      機      械        | 1 | 1.1            | 1.0            | 1.0            | 1.1            | 0.7            | 0.8            |
|                          | 3 | 1.4            | 0.9            | 1.3            | 1.1            | 0.7            | 0.8            |
|                          | 5 | 1.4            | 0.8            | 1.2            | 1.0            | 0.8            | 0.8            |
| その他の電気機械                 | 1 | 1.7            | 0.5            | 0.8            | 1.0            | 0.6            | 0.6            |
|                          | 3 | 1.4            | 0.8            | 1.0            | 1.1            | 0.7            | 0.8            |
|                          | 5 | 1.3            | 0.8            | 1.0            | 1.1            | 0.8            | 0.8            |
| 自      動      車          | 1 | 2.1            | 1.2            | 2.5            | 1.1            | 1.3            | 1.3            |
|                          | 3 | 1.4            | 1.6            | 2.2            | 1.1            | 1.2            | 1.2            |
|                          | 5 | 1.2            |                |                | 1.1            |                |                |
| 金 属      製      品        | 1 | 5.0            | 0.7            | 3.3            | 1.0            | 0.9            | 0.9            |
|                          | 3 | 3.5            | 0.9            | 3.2            | 1.0            | 1.0            | 0.9            |
|                          | 5 | 2.3            | 0.9            | 2.6            | 1.0            | 1.0            | 1.0            |

3.15表にもとづいて算出。

3.16表をみてまず気付くことは、資本金でみた企業規模の増大率は、市場規模の増加率を上回っている場合が多いのに対し、売上高でみた企業規模の増大率は、市場の成長率を下回っているということである。もし、この産業分類が品目別に細分化されたものであるとすれば、当該品目の売上額は、当該企業の売上額の一部に過ぎないから、当然、企業が多角経営になってくる

ほど、資本金の増加と一品目の売上額の増加とは乖離し、前者がより大きく後者は企業規模を過少評価することになる。けれども、この表のもとになった資料は、三菱経済研究所の企業経営の分析であり、そこでの産業分類は大きく、売上額の中には、当該企業の売上額が殆んど含まれている。したがって、ここにみられる数値は、資本金が増大しているほどに、売上額は増加していないことを意味する。

アメリカについてそうであったように、生産高で規模をはかるという考え方をとって比較してみよう。1社又は1社と3社の相対的成長率が1を越えている業種は、少数上位企業の集中度が増大した分野であるということができる。それが顕著な業種は、ガラス、自動車、無機工業薬品、有機工業薬品であり、他の業種は31—40年の期間については、1を割っているものが多い。そのうち目立っているのは化繊、鉄鋼、事務用家庭用機械、通信機械、電気機械である。ほぼ同じテンポで拡張したのは、発電送電産業用機械、その他の産業用機械、油脂で、これは1.1～1.2程度である。1以下の業種では鉄鋼を除くと高成長産業である。又、停滞産業では、綿、スフは1又は1以下、製粉は1.1で、集中が進行した証拠はない。無機工業薬品のみが低成長の中で上位企業の相対的拡張をもたらしている。上位企業の相対的拡張度は、先の集中度の動向と比較的照応している。

以上を、第2節で検討したアメリカの場合と比較してみると、いくつかの興味ある相異点に気付くであろう。もちろん前節で述べたサンズの方法と今節で展開した私の方法は異なっており、前者は事業所の規模の相対的拡張を扱っているのに対し、私の場合は企業規模の相対的拡張を問題にしている。けれども成長産業における一企業あたりの事業所の数は、高度成長期において増加することはあっても減少することはないという想定をおくなら、もし企業の成長が市場の成長を下回るなら、当該企業に属する事業所の規模の相対的拡張は小さいと言えるだろう。このような点を考慮しながら比較すると、アメリカの場合、事業所数の増加は相対的に少なく、産出量の増加を明らかに下回っていたのに対し、日本の場合は、事業所規模も企業規模も、

もちろん増加しているが、市場の成長テンポには相対的に遅れているものがかなり多いといえることができる。これは、高度成長過程で集中が進行しなかったこと、競争が激しく下位企業の追いあげがあったことを意味するし、成長過程では集中度が低下するという事実にもよくフィットしていると言える。

付 表

各年度別最上位100社の順位

(資料 三菱経済研究所(本邦事業経営分析(企業経営の)  
分析)より、売上高により各年度の順位を示した)

| 会 社 名 | 30 | 32 | 33 | 34 | 36 | 39  | 40  |
|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|
| 八幡    | 1  | 1  | 1  | 1  | 2  | 3   | 2   |
| 富士    | 2  | 2  | 3  | 3  | 3  | 4   | 4   |
| 日本    | 3  | 4  | 5  | 5  | 4  | 9   | 8   |
| 日立    | 4  | 5  | 7  | 6  | 11 | 10  | 6   |
| 日立    | 5  | 3  | 2  | 2  | 1  | 2   | 3   |
| 東洋    | 6  | 12 | 16 | 21 | 26 | 35  | 32  |
| 東洋    | 7  | 8  | 8  | 7  | 9  | 11  | 20  |
| 鐘淵    | 8  | 14 | 17 | 22 | 27 | 16  | 17  |
| 住友    | 9  | 9  | 15 | 12 | 16 | 13  | 11  |
| ニチ    | 10 | 20 | 27 | 29 | 37 | 41  | 48  |
| 東芝    | 11 | 7  | 4  | 4  | 12 | 5   | 7   |
| 日立    | 12 | 27 | 24 | 30 | 42 | 45  | 46  |
| 三菱    | 13 | 6  | 6  | 10 | 10 | 1   | 1   |
| 新井    | 14 | 16 | 20 | 27 | 44 | 67  | 69  |
| 三井    | 15 | 17 | 14 | 14 | 14 | 14  | 14  |
| 川崎    | 16 | 10 | 19 | 18 | 13 | 15  | 13  |
| 朝日    | 17 | 24 | 21 | 20 | 22 | 27  | 28  |
| 三菱    | 18 | 13 | 9  | 8  | 7  | 12  | 15  |
| 神戶    | 19 | 19 | 22 | 15 | 15 | 18  | 12  |
| 日本    | 20 | 30 | 25 | 19 | 25 | 22  | 19  |
| 日本    | 21 | 34 | 26 | 25 | 24 | 28  | 29  |
| 丸善    | 22 | 22 | 13 | 13 | 17 | 23  | 24  |
| 三井    | 23 | 26 | 38 | 47 | 68 | 109 | 101 |
| 三井    | 24 | 38 | 39 | 50 | 61 | 74  | 81  |
| 三井    | 25 | 15 | 10 | 16 | 23 | -   | -   |
| 旭     | 26 | 36 | 40 | 28 | 36 | 24  | 23  |
| 三井    | 27 | 55 | 47 | 48 | 57 | 62  | 55  |
| 松下    | 28 | 18 | 11 | 9  | 6  | 6   | 10  |
| 北炭    | 29 | 31 | 43 | 51 | 65 | 99  | 98  |
| 住友    | 30 | 32 | 30 | 13 | 31 | 32  | 34  |
| 宇部    | 31 | 29 | 31 | 34 | 46 | 46  | 42  |
| 十條    | 32 | 43 | 32 | 40 | 58 | 77  | 87  |

| 会 社 名   | 30 | 32 | 33 | 34  | 36 | 39  | 40 |
|---------|----|----|----|-----|----|-----|----|
| 味の素     | 33 | 41 | 42 | 43  | 51 | 58  | 11 |
| 昭和電工    | 34 | 39 | 45 | 41  | 47 | 53  | 56 |
| 三菱石油    | 35 | 33 | 34 | 24  | 28 | 29  | 27 |
| 三井金属    | 36 | 54 | 51 | 57  | 60 | 60  | 59 |
| 小野セメント  | 37 | 63 | 68 | 69  | 66 | 63  | 68 |
| 古河電工    | 38 | 37 | 41 | 26  | 33 | 39  | 39 |
| 東亜燃料    | 39 | 28 | 33 | 32  | 50 | 47  | 47 |
| 古河鋁業    | 40 | 42 | 44 | 54  | 62 | -   | -  |
| 倉敷紡績    | 41 | 48 | 58 | 67  | 69 | 72  | 77 |
| 日産自動車   | 42 | 21 | 18 | 17  | 8  | 8   | 9  |
| 大和紡績    | 43 | 49 | 66 | 71  | 88 | 103 | -  |
| 東洋高圧工業  | 44 | 57 | 53 | 62  | 78 | 83  | 83 |
| トヨタ自動車  | 45 | 11 | 12 | 11  | 5  | 7   | 5  |
| 日本文毛織   | 46 | 68 | 92 | 102 | -  | -   | -  |
| 呉羽紡績    | 47 | 53 | 65 | 10  | 73 | 76  | 73 |
| 旭硝子     | 48 | 46 | 48 | 53  | 52 | 52  | 62 |
| 日立造船    | 49 | 23 | 23 | 33  | 48 | 34  | 38 |
| 帝国造糸    | 50 | 60 | 57 | 37  | 18 | 17  | 16 |
| 日産化学工業  | 51 | 66 | 85 | 96  | -  | -   | -  |
| 日本水産    | 52 | -  | -  | -   | -  | -   | -  |
| 昭和石油    | 53 | 51 | 52 | 45  | 53 | 56  | 54 |
| 日本セメント  | 54 | 67 | 64 | 68  | 91 | 106 | -  |
| 日清紡績    | 55 | 64 | 69 | 76  | 82 | 105 | 97 |
| 住友電気工業  | 56 | 50 | 54 | 42  | 40 | 44  | 44 |
| 住友金属鉱山  | 57 | 84 | 89 | 72  | 88 | 94  | -  |
| 大日本製糖   | 58 | 85 | 88 | 99  | -  | -   | -  |
| 富士紡績    | 59 | 72 | 79 | 90  | 86 | 86  | -  |
| 日本鉄板    | 60 | 77 | -  | -   | -  | -   | -  |
| 日東紡績    | 61 | 69 | 82 | 94  | 90 | 89  | 99 |
| 武田薬品工業  | 62 | 56 | 49 | 59  | 49 | 26  | 26 |
| 倉敷レイヨンプ | 63 | 58 | 62 | 61  | 59 | 61  | 57 |
| 興国人絹パルプ | 64 | 75 | -  | -   | -  | -   | -  |
| 中山製鋼所   | 65 | 47 | 63 | 63  | 75 | -   | -  |
| 王子製紙    | 66 | 86 | -  | 79  | 89 | 69  | 72 |
| 名古屋精糖   | 67 | 74 | 76 | 91  | -  | -   | -  |

| 会 社 名       |             |             |                 |                 | 30  | 32  | 33  | 34  | 36  | 39  | 40 |
|-------------|-------------|-------------|-----------------|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 三 蓋 化 成 工 業 | 三 菱 日 本 重 工 | 敷 島 紡 績     | 日 本 冷 蔵         | 東 洋 工 業         | 68  | 61  | 55  | 46  | 41  | 30  | 30 |
| 昭 和 産 業     | 森 永 製 菓     | い す ず 自 動 車 | 久 保 田 鉄 工       | 本 州 製 紙         | 69  | 25  | 28  | 31  | 34  | -   | -  |
| 近 江 網 紡 績   | 小 松 製 作 所   | 明 治 製 糖     | (36年以降石川島播磨重工業) | 石 川 島 重 工 業     | 70  | 81  | 93  | 97  | 101 | -   | -  |
| 日 本 油 脂     | 大 協 石 油     | 山 陽 パ ル プ   | 日 鉄 鉱 業         | 富 士 写 真 フ ィ ル ム | 71  | 78  | 73  | 77  | 76  | 101 | 91 |
| 東 北 パ ル プ   | 播 磨 造 船 所   | ダ イ ハ ツ 工 業 | 日 東 化 学 工 業     | 富 士 電 機 製 造     | 72  | 65  | 71  | 64  | 21  | 21  | 22 |
| 住 友 石 炭 鉱 業 | 川 崎 重 工 業   | 東 洋 製 鋼 所   | 明 治 乳 業         | 三 菱 レ イ ヨ ン     | 73  | 105 | 99  | 101 | -   | -   | -  |
| 三 井 化 学 工 業 | 三 井 造 船     |             |                 |                 | 74  | 89  | 91  | 100 | 93  | 84  | 92 |
|             |             |             |                 |                 | 75  | 40  | 29  | 35  | 19  | 19  | 25 |
|             |             |             |                 |                 | 76  | 35  | 46  | 49  | 30  | 33  | 33 |
|             |             |             |                 |                 | 77  | 97  | 80  | 84  | 81  | 87  | 93 |
|             |             |             |                 |                 | 78  | -   | -   | -   | -   | -   | -  |
|             |             |             |                 |                 | 79  | -   | 103 | 88  | 43  | 43  | 43 |
|             |             |             |                 |                 | 80  | -   | -   | -   | -   | -   | -  |
|             |             |             |                 |                 | 81  | -   | -   | -   | -   | -   | -  |
|             |             |             |                 |                 | 82  | 45  | 35  | 38  | 20  | 20  | 18 |
|             |             |             |                 |                 | 83  | -   | -   | -   | -   | -   | -  |
|             |             |             |                 |                 | 84  | 79  | 90  | 78  | 70  | 58  | 53 |
|             |             |             |                 |                 | 85  | -   | -   | -   | -   | -   | -  |
|             |             |             |                 |                 | 86  | 94  | -   | -   | -   | -   | -  |
|             |             |             |                 |                 | 87  | 82  | -   | -   | -   | -   | -  |
|             |             |             |                 |                 | 88  | 95  | 84  | 88  | 96  | 93  | 82 |
|             |             |             |                 |                 | 89  | -   | -   | -   | -   | -   | -  |
|             |             |             |                 |                 | 90  | 80  | 70  | -   | -   | -   | -  |
|             |             |             |                 |                 | 91  | 76  | 77  | 66  | 39  | 42  | 49 |
|             |             |             |                 |                 | 92  | 107 | 105 | -   | -   | -   | -  |
|             |             |             |                 |                 | 93  | 59  | 50  | 52  | 32  | 48  | 60 |
|             |             |             |                 |                 | 94  | 71  | 75  | 87  | -   | -   | -  |
|             |             |             |                 |                 | 95  | 44  | 37  | 58  | 67  | 98  | 64 |
|             |             |             |                 |                 | 96  | 96  | 81  | 74  | 79  | -   | -  |
|             |             |             |                 |                 | 97  | 52  | -   | 82  | 72  | -   | -  |
|             |             |             |                 |                 | 98  | 87  | 74  | 73  | 63  | 57  | 51 |
|             |             |             |                 |                 | 99  | -   | -   | 86  | 97  | 51  | 50 |
|             |             |             |                 |                 | 100 | -   | -   | -   | -   | 78  | 86 |
|             |             |             |                 |                 | 101 | 62  | 56  | 65  | 85  | 88  | 65 |